



「出生率低下の進む我が国の家族政策を考える」

東北大学公共政策大学院

2024年度 公共政策ワークショップI プロジェクトB

小成晶紀, 津田京香, 鳥羽雪絵, 福田敬祐, 藤崎輝, 丸野泉紀, 渡邊光
指導教員 度山徹教授, 藤原健太郎准教授, 江口博行教授

2024年12月17日 (火)



目次

01 | 総論

02 | 各論 —

① 家庭 × 職場

② 家庭 × 地域コミュニティ

③ 職場 × 地域コミュニティ

03 | まとめ

01 | 総論



01 | 総論 目次

1 研究背景

- ・ プロジェクトBメンバーの不安
- ・ わが国における少子化の現状と対応
- ・ 中間報告からの発展
- ・ 後期ヒアリング活動

2 研究の方向性

- ・ 研究課題の捉え方
- ・ 研究目標
- ・ 少子化問題を考える視点
- ・ 思考過程の整理
- ・ 本研究における
家庭・職場・地域コミュニティの捉え方
- ・ 提言先
- ・ 各論に向けたまとめ

**これから社会に出て、子どもを産み育てていくと考えた際に
何を不安に感じますか**



プロジェクトBメンバーのありのままの不安

「男性である自分は何をしてよいか分からない」

「誰にも頼れない状況に陥るのではないか」

「子どもがいてもいなくても仕事を継続できるか」

「子どもを産み育てることによってどのようなキャリアを歩めるかわからない」

・
・
・

プロジェクトBメンバーのありのままの不安



現在の もしくは 将来想定している住居の
近くに頼れる家族が**いる**.
頼れる職場のイメージが**ある**.

現在の もしくは 将来想定している住居の
近くに頼れる家族が**いない**.
頼れる職場のイメージが**ない**.



不安を抱いた際、身近に頼れる環境があるか否か



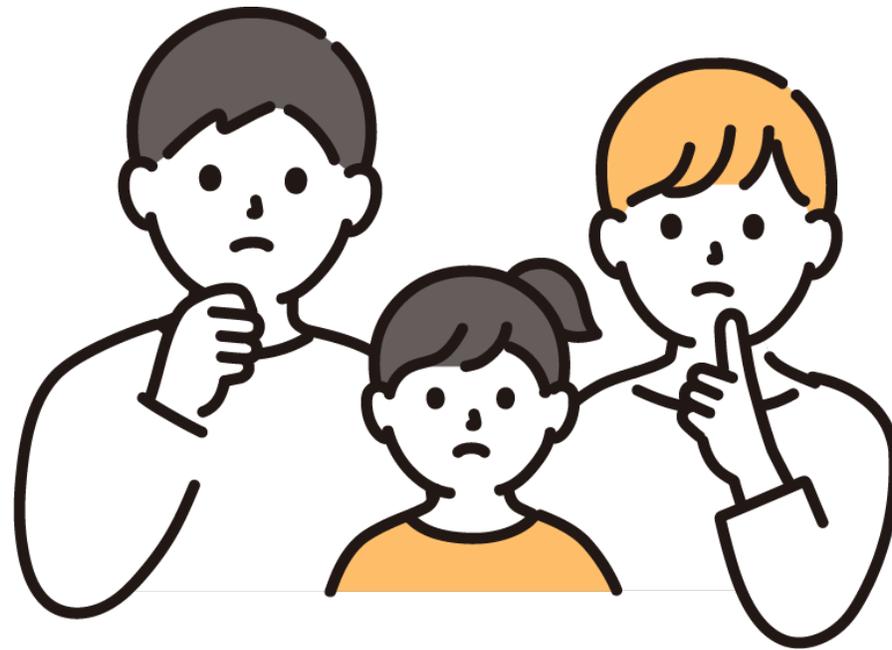
わが国における少子化の現状と対応

核家族

アウェイ育児

長時間労働

共働き

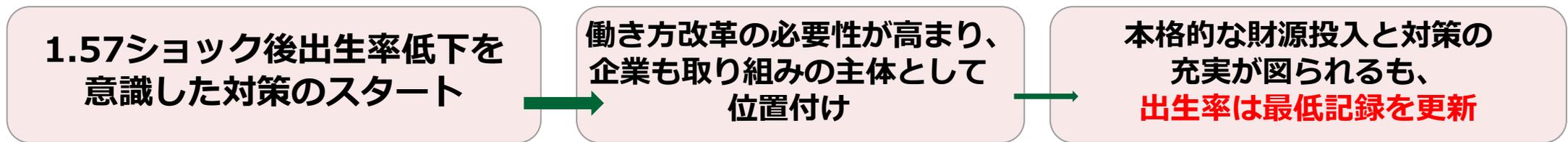
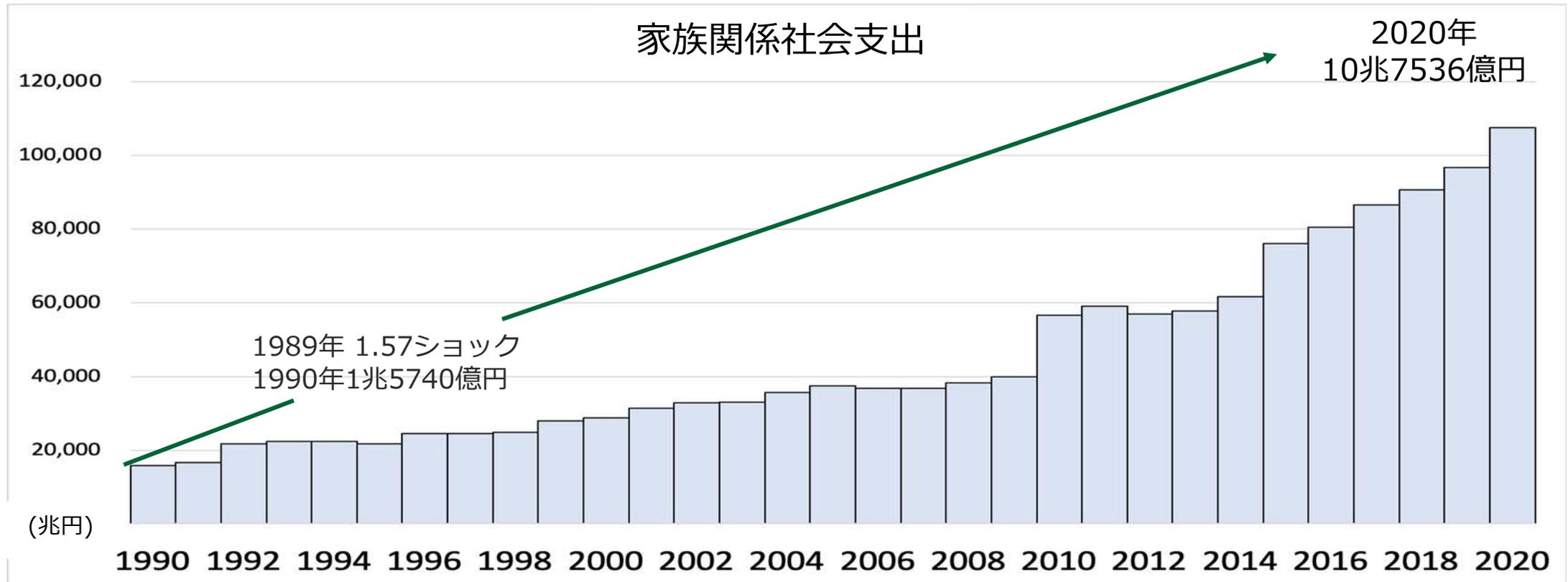


課題を解決するための「頼れる環境」は果たして十分と言えるか



わが国における少子化の現状と対応

約30年間で7倍の投資額



わが国における少子化の現状と対応



わが国における少子化の現状と対応

問題意識

国の施策や取組みが行われてきた/いるにも関わらず、
子どもを望む人が希望を実現できない社会になっているのはなぜか



中間報告からの発展

固定化されたジェンダー規範を悪者にしていただけでは政策提言にならない！



具体的な政策提言を考える上では、

固定化されたジェンダー規範が存在している社会の中にある具体的な不安・問題を解決することで、結果的にジェンダー規範に変容をもたらすことができるような政策の検討へ方向性を切り替えた

中間
報告

大目標	「子どもを産み育てる上で壁の少ない社会」
中目標	「誰もが安心して子育てができる社会、働き続けることができる社会」

最終
報告

大目標	「誰もが理想のライフプランを描ける社会」
中目標	「子どもを産み育てる上で壁の少ない社会」



後期ヒアリング活動 東京夏合宿



せたがや子育てネット



こども家庭庁 長官



厚生労働省 雇用環境・均等局



内閣府 男女共同参画局



千葉県流山市 こども家庭部



流山市 おおたかの森送迎保育ステーション



後期ヒアリング活動



泉チェリーこども園



宮城県気仙沼市 震災復興・企画課



アサヤ株式会社



宮城県塩竈市 子ども未来課



東北活性化研究センター



岩手県庁 若者女性協働推進室
子ども子育て支援室



株式会社 薬王堂



楽天グループ 株式会社



後期ヒアリング活動 オンライン



江崎グリコ株式会社



兵庫県豊岡市
多様性推進・ジェンダーギャップ対策課



上智大学 三浦まり教授



アンジュ・ママン



なないろキッズ

そのほかにも、

- ・SONY株式会社
- ・株式会社関・空間設計
- ・株式会社藤崎デパート
- ・マザー・ウイング
- ・片平市民センター・児童館
- ・仙台市(書面)
- ・株式会社ベアレン醸造所(書面)



**固定化されたジェンダー規範が存在している社会において
子どもを産み育てる上での具体的な不安・課題とは何か**



研究課題の捉え方

社会

固定化されたジェンダー規範

課題：

分業せざるを得ない
働き方

家庭

課題：

孤独な育児

私たち

職場

課題：

労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

地域コミュニティ

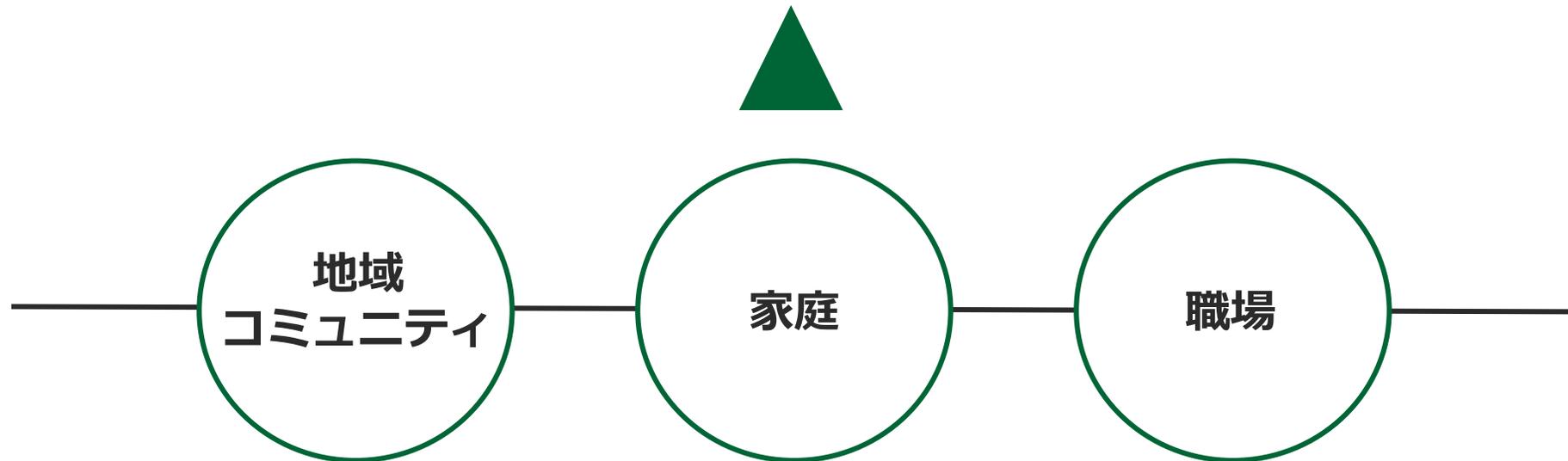


研究課題の捉え方

分業せざるを得ない
働き方

労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

孤独な育児



3つが連携・協働し、互いの機能を果たすことで課題に立ち向かうことが重要



研究目標

大目標：誰もが理想のライフプランを描ける社会

中目標：子どもを産み育てる上で壁の少ない社会

身近に頼れる環境をつくる

職場

家庭

地域
コミュニティ

孤独の育児

分業せざるを得ない働き方

労働参加が進んだことによるコミュニティ機能が弱体化



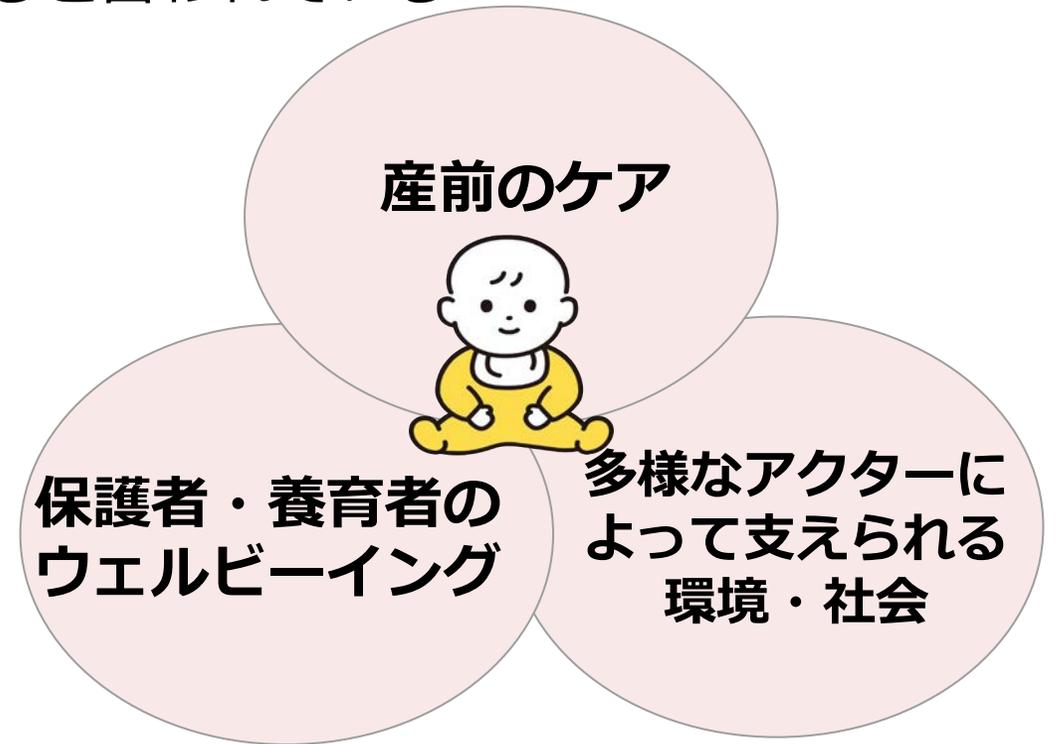
少子化問題を考える視点 最初の100ヶ月育ちビジョン

2023年に「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども家庭庁が発足！

こども家庭庁の示した「最初の100ヶ月育ちビジョン」では、
人生のウェルビーイングにおいて「**こどもの誕生前から幼児期まで**」が、
最も重要な時期であると言われている

- ① こども基本法
- ② こども大綱
- ③ こども未来戦略

「こどもまんなか社会」の実現に向けた
対策が打ち出される



少子化問題を考える視点 研究の射程としての家族政策

研究テーマ「出生率低下の進む我が国の家族政策を考える」
家族政策の6つの目的（Thévenon 2011）の中でプロジェクトBで重要視したものの

- ① 低所得家庭の貧困削減と収入の維持
- ② 子どもに係る経済的支援
- ③ 雇用促進（特に働く親のサポート）
- ④ 家事分担などのジェンダー平等の改善
- ⑤ 子どもの発達支援
- ⑥ 出生率の向上

我々の不安

- ・ 誰にも頼れない状況に陥るのではないか
- ・ どのようなキャリアを歩めるかわからない
- ・ 地域支援を活用方法がわからない 等

私たちが抱く不安と
問題意識が重なる③④⑤を
主な射程として研究



思考過程の整理



自分ごとに
する

これから社会に出て子どもを産み育てる私たちは何を不安に感じるか

軸

不安を抱いた際、身近に頼れる環境があるか否か

現状

家族関係社会支出の増加 ⇔ 出生数・出生率の低下

問題意識

国の取組や施策が行われてきた/いるにもかかわらず
子どもを望む人が希望を実現できない社会になっているのはなぜか

はじめの100ヶ月育ちビジョン・家族政策

職場

家庭

地域コミュニティ

分業せざるを得ない働き方

労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

孤独な育児



本研究における職場・家庭・地域コミュニティの捉え方

職場

・・・人々が働き対価を得る場所・つながり

家庭

・・・家族のメンバーと共に生活する場所・つながり

地域
コミュニティ

・・・NPO法人や行政、ボランティアなどの人や団体が
協働して活動を行う場所・つながり



提言先

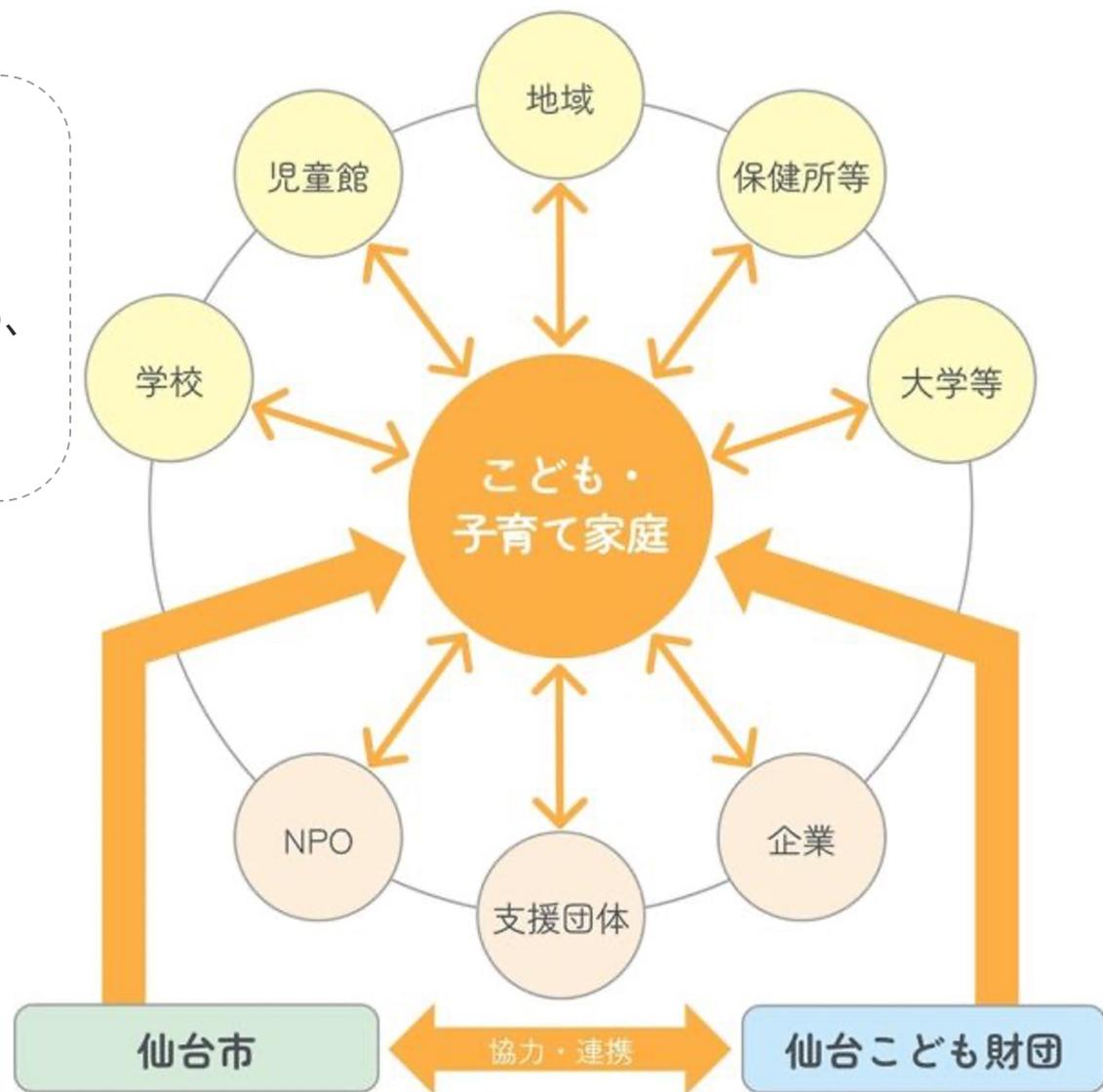
本研究が設定する課題は、全国的なものであるが、
主に研究にご協力いただいた**仙台市・仙台こども財団・天童市・宮城県**を
モデル自治体・法人として政策提言を行う



(参考) 仙台こども財団とは

仙台こども財団は、こどもの健やかな育ちと子育てを地域社会全体で支える機運を一層高めるとともに、こどもや子育て家庭をめぐる課題や多様化するニーズに的確に対応しながら、こどもを中心とした社会づくりを進め、「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に寄与することを目的に、令和5年11月20日に設立。

- ▷ **ビジョン (財団が実現したい未来の姿)**
まち全体がこども・子育て家庭にあたたかく、すべてのこどもたちが健やかに育つ社会
- ▷ **ミッション (財団が取り組むこと)**
こどもたちからの提案を一緒に実現する
多世代交流を促進し、人と人とのつながりを育む
こども・若者・子育て支援ネットワークの輪を広げる
- ▷ **バリュー (財団が大事にする価値)**
失敗をおそれずチャレンジを楽しむ
現場の支援・様々な声を大切にし、対話と共有を重ねる



各論に向けたまとめ

社会

固定化されたジェンダー規範

- ・ バイアス解消プログラム
- ・ 伴走型支援プロジェクト
- ・ 育休取得チャレンジ企業との交流
- ・ 男性育休取得の期間別公表と企業内報告
- ・ 家事育児シェアチェックシート

課題：
分業せざるを得ない働き方

家庭



職場

地域
コミュニティ

課題：
孤独な育児

- ・ 認定こども園などの利活用
- ・ 行政と地域が協働で行う伴走型支援
- ・ 地域の孫育てプロジェクト
- ・ 大学ボランティア制度導入

課題：
労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

- ・ 地域主催の企業版両親教室
- ・ 両親教室子育てサポーター



02 | 各論



02 | 各論 目次

1 【家庭 × 職場】

分業せざるを得ない働き方を改善するために

- 提言1. 行政と商工会議所によるバイアス解消プログラム
- 提言2. パパ育休取得チャレンジ対象企業との交流会
- 提言3. 家事育児シェアチェックの活用
- 提言4. 男性育休取得の期間別人数公表と内容の企業内報告
- 提言5. 職場が支える伴走型支援プロジェクト

2 【家庭 × 地域コミュニティ】

孤独な育児を解消するために

- 提言6. 地域コミュニティ活動の拠点としての認定こども園などの利活用
- 提言7. 行政と地域が協働で行う伴走型支援
- 提言8. 単位認定制度で大学生の子育て支援ボランティア活動の拡大
- 提言9. 地域の孫育てプロジェクト(孫休暇×地域子育て団体)

3 【職場 × 地域コミュニティ】

労働参加が進んだことによる地域コミュニティ機能の弱体化を改善するために

- 提言10. 地域主催の企業版両親教室
- 提言11. 両親教室参加者(父親)による子育てサポーター

02 - 1 | 各論 【家庭 × 職場】

分業せざるを得ない働き方を改善するための方策



③研究の方向性 5.各論に向けたまとめ

社会

固定化されたジェンダー規範

- ・ バイアス解消プログラム
- ・ 伴走型支援プロジェクト
- ・ 育休取得チャレンジ企業との交流会
- ・ 男性育休取得の期間別人数公表と内容の企業内報告
- ・ 家事育児シェアチェックの活用

課題：
分業せざるを得ない働き方

家庭

私たち

職場

地域
コミュニティ

課題：
孤独な育児

課題：
労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

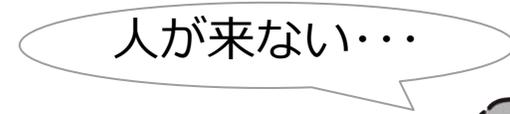
- ・ 認定こども園などの利活用
- ・ 行政と地域が協働で行う伴走型支援
- ・ 孫育てプロジェクト
- ・ 大学ボランティア制度導入

- ・ 地域主催の企業版両親教室
- ・ 両親教室子育てサポーター

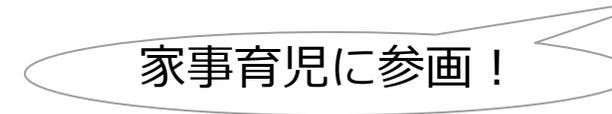


前提「分業せざるを得ない働き方の改善」に向けた方向性

性別役割分業意識の存在による、
長時間労働・家事育児分担の偏り・人材不足などの問題



性別役割分業意識に基づくバイアスの存在に気付くための
取組みや、性別にかかわらず育児休業を取得できるようにする
取組みを通して、企業や子育て当事者にアプローチする



性別役割分業意識の解消につながる



若者の多くが理想としている、共に働いて共に子を育てるライフコースを実現できる社会を目指す



前提 バイアス解消に向けたステップ

STEP1
(気づく)

STEP2
(自分ごとにする)

STEP3
(行動する)

バイアス解消プログラム

交流会

家事育児シェアチェック

男性育休取得の期間別人数
公表と内容の企業内報告

伴走型支援プロジェクト

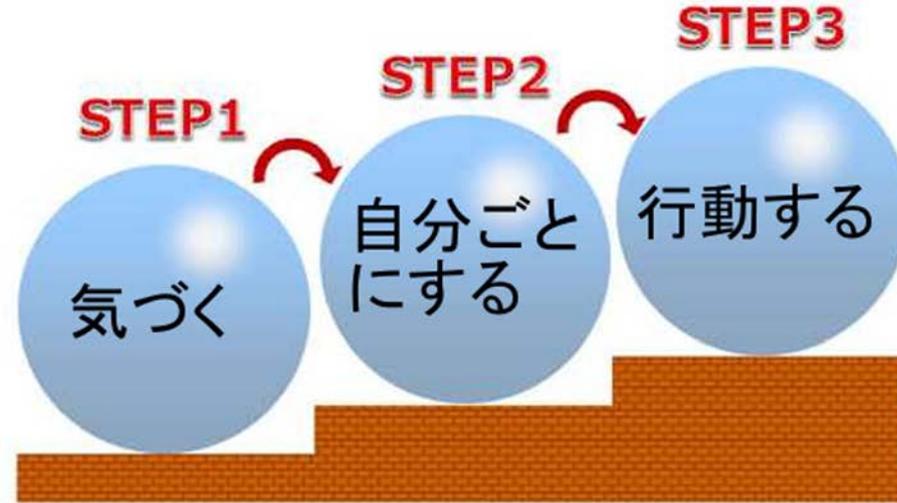


**無意識のバイアスを解消することで、
分業せざるを得ない働き方の改善につながる！**



兵庫県豊岡市 アンコンシャスバイアス解消ステップ

自分の中にある「無意識の偏見・思い込み・決めつけ」や固定観念に気づくことから



- ★ **認める** バイアスを持っていることを認める
- ★ **意識する** 「無意識」を「意識」する
- ★ **言葉を変える** 偏見・決めつけ・差別的な言葉は使わない
- ★ **受け入れる** 受容する

兵庫県豊岡市 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課資料



提言 1. 行政と商工会議所によるバイアス解消プログラム

理想

性別によってキャリアが制限されない社会

既存の取組み

- ▷ 仙台市
 - ・ 男女共同参画推進センター主催のバイアス解消セミナー(1年に1回のみ)
- ▷ 天童市
 - ・ 男女共同参画推進委員会による機関誌発行(年3回)

取組みに不足している点

- ・ バイアスの解消に効果的だと考えられる継続的な学びの機会がない

取り組むべき課題

経営層や管理職のバイアスによって
女性のキャリアアップや男性の家事育児参画の可能性が妨げられている



提言 1. 行政と商工会議所によるバイアス解消プログラム

提言の効果

継続的なプログラムを通してバイアスに気づき自分ごとにするすることで、
経営層や管理職のバイアスの解消につながる

仙台市・天童市

仙台・天童商工会議所

経営層や管理職を対象として、
バイアスの存在に気づいてもらうための専門家による講演や、
気づきを自分ごとにするためのワークショップを数か月かけて実施

参加

募集

参加者

1. プログラム参加によってバイアスの存在に気づく
2. ワークショップによって気づきを自分ごとにする



提言2. パパ育休取得チャレンジ対象企業との交流会

理想

性別にかかわらず育児休業を取得できる状態

既存の取組み

- ▷ 仙台こども財団
 - ・ パパ育休取得チャレンジ
 - チャレンジ企業への社労士の派遣

取組みに不足している点

- ・ 社労士を派遣した少数の企業しか男性の育児休業を取得できる環境が整備されない

取り組むべき課題

多くの中小企業では未だに男性が育児休業を取得する際のハードルが高い



提言 2. パパ育休取得チャレンジ対象企業との交流会

提言の効果

中小企業における先進的な事例を共有し、継続的な交流会を行うことで、より多くの中小企業で男性の育児休業を取得しやすい環境を整備する

仙台こども財団

現在の取組み：パパ育休取得チャレンジによる社労士派遣

ステップアップ

チャレンジ対象企業の人事担当者
(先進事例)

事例共有
意見交換

これから社員の育休取得の促進に
取り組みたい企業の人事担当者



提言2. パパ育休取得チャレンジ対象企業との交流会

仙台こども財団 男性育休取得チャレンジ企業創出事業

中小企業等の皆様へ

制度創設・取得促進

パパ育休に チャレンジ しませんか

男性育休を取得しやすい環境づくりを
目指す企業に
専門家(社会保険労務士等)を派遣し、
制度設計に向けたサポートをします!



詳しくは裏面へ→

仙台こども財団 男性育休取得チャレンジ企業創出事業

従業員



取得したいけど制度がない...

事業主



働きやすい環境を整えたい...

就活生



育休制度がある企業に就職したい...

01

専門家(社労士等)を派遣し、制度設計に向けたアドバイスをします!

02

取り組み事例を幅広くアピールします!

対象企業	仙台市内に本社があり、従業員数300人以下で男性の育児休業制度の創設・取得促進に意欲がある企業
募集数	4社程度 (応募多数の場合は選定)
応募方法	提出書類を郵送又は持参 (平日午前9時～午後5時まで)
応募期間	令和6年5月20日(月)～8月9日(金)

令和6年
8月以降

派遣終了

取り組みをSNS等で発信

→

令和7年
2月

派遣終了

3月以降
事例公表

<月1回程度専門家を派遣し、業務改革や制度設計をアドバイス・サポート>

※申し込みの際にいただいた情報は、本財団の事業の事務連絡及び個人を特定しない情報として利用します。

【問い合わせ先】
一般財団法人仙台こども財団 総務課
〒980-0803
仙台市青葉区国分町3-6-1
仙台パークビル4階
TEL: 022-302-5275 Mail: info@sendai-kodomo.jp
https://sendai-kodomo.jp/

ご応募お待ちしております



お申し込みの詳細、提出書類のダウンロードはこちら↓



仙台こども財団「パパ育休取得チャレンジ」



提言2. パパ育休取得チャレンジ対象企業との交流会

参考事例



豊岡市

「ワークイノベーション推進会議」



合同会社 気仙沼の人事部

「気仙沼人事研究会」



提言3. 家事育児シェアチェックの活用

理想

男女ともに働き、家事育児をする家庭のあり方

既存の取組み

- ▷ 仙台市
 - ・ ハンドブック「洒落なパパ本」などの作成
 - ・ 企業が作成した「家事見える化シート」のHP紹介
- ▷ 国
 - ・ 家事育児シェアチェックシートの作成

取組みに不足している点

- ・ 家事育児シェアチェックの普及に至っていない

取り組むべき課題

女性側に家事育児負担が依然として偏っていることが
見える化できていない



提言3. 家事育児シェアチェックの活用

岩手県の事例(左はシート版、右はWeb版)

食事 に関すること		① 献立を考える	② 米を洗う・ご飯をたく	③ 食事を作る・よそう	④ おはしや取り皿を並べる	⑤ 食器を台所へ下げる(洗った食器を処理)	⑥ 食器・鍋類を洗う
小計	現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実
夫			夫		夫		夫
妻			妻		妻		妻
他			他		他		他
⑦ 食器を拭く・食器を食器棚へしまふ		⑧ シンク内を綺麗にする		洗濯 に関すること		⑨ 洗濯物の裏返し・ポケットを確認する	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
⑩ 洗濯物を取り込む		⑪ 洗濯物を畳む		⑫ 洗濯物を仕分けてネットに入れる		⑬ 洗濯機に洗濯や柔軟剤を入れる	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
⑭ 洗濯物を収納する		⑮ ダオルを交換する		⑯ 布巾を干す・シーツを洗う		⑰ アイロンをかける(クリーニング)	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
⑱ 部屋の整理整頓をする		⑲ リビング・各部屋を掃除する		⑳ こみを集め、分別する		㉑ こみを出す(段ボールを捨てる)	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㉒ 新しいごみ袋をセットする		㉓ お風呂掃除をする		㉔ トイレ掃除をする		掃除 に関すること	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㉕ 洗面所を掃除する		㉖ 排水溝を掃除する		㉗ 台所を掃除する		㉘ 靴を片付け、玄関を掃除する	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㉙ ベランダ・庭を掃除する(草取り・草刈り)		㉚ 家具まわりのホコリを拭く		その他の家事		⑳ 在庫管理・買物のリストアップ	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㉛ 買い物をする(食材・日用品)		㉜ トイレ・ペーパー等生活用品の補充		㉝ 高齢(高齢者)の通院に付き添う		㉞ 町内会・自治会の活動に参加する	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㉟ 朝、子どもを起こす		育児 に関すること		㊱ 子どもの食事を補助する		㊲ 子どもの歯磨きを仕上げる	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㊳ 子どもの着替えを補助する		㊴ 子どもの持ち物を確認する(お名刺)		㊵ 保育園・幼稚園の送迎をする		㊶ 学校園からのお便りを確認する	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㊷ 子どもの水筒・弁当箱を洗う		㊸ 子どもと遊ぶ		㊹ 子どもと宿題・勉強をみる		㊺ 子どもと買い物をする	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	
㊻ 子どもを風呂に入れる		㊼ 夜、子どもを寝かしつける		㊽ 子どもを病院に連れて行く		いざ！我が家の最強体制へ！	
現実	理想	現実	理想	現実	理想	現実	理想
夫		夫		夫		夫	
妻		妻		妻		妻	
他		他		他		他	

シェア率診断中...

食事に関すること

1 献立を考える

該当なし

夫 妻

現状

50% |-----| 50%

理想

50% |-----| 50%

戻る 次へ



提言3. 家事育児シェアチェックの活用

提言の効果

HP上での紹介だけでなく、両親教室や企業版伴走型支援などの取組みで実際に利用してもらって自分ごとにするすることで、家事育児分担の適正化に繋げる

仙台市

現在は民間の家事育児シェアチェックシートをHP上で紹介のみ



両親教室(提言10)や企業版伴走型支援(提言11)などで活用



子育て当事者

実際にシートを利用して分担の見直し・適切な分担へ改善する



提言4. 男性育休取得の期間別人数公表と内容の企業内報告

理想

男性育休取得の実態の見える化

既存の取組み

▷国

- ・ 男性育休取得率の平均値の公表義務
→従業員1001人以上の企業、
2025年度から301人以上に拡大
- ・ 育児休業平均取得日数は任意で公表

取組みに不足している点

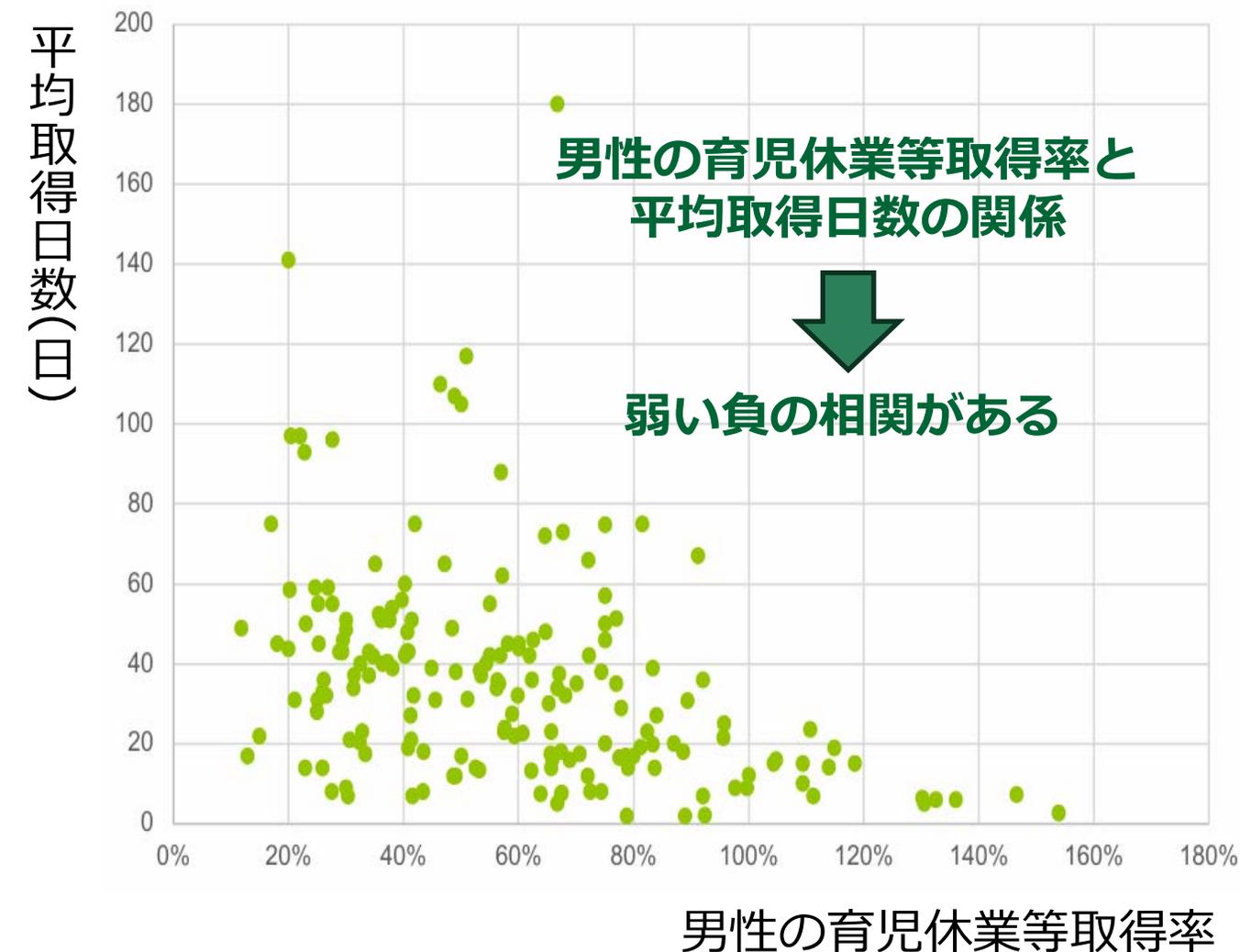
- ・ 男性の育休等取得率は30.1%で女性に比べ低い
- ・ 男性の育休等取得率が高い企業ほど平均取得日数が短くなる傾向があり、必ずしも育児休業取得率が実態を表していない

取り組むべき課題

男性育休取得率の公表だけでは男性育休取得の正確な実態がつかめない



提言 4. 男性育児休業取得の期間別人数公表



全国の従業員1,000人超の全ての企業・団体が対象の厚生労働省イクメンプロジェクトのWebアンケート調査

**育休等取得率が高い企業ほど、
平均取得日数が短くなる傾向**



提言4. 男性育休取得の期間別人数公表

提言の効果

育休取得の実態をより詳細に把握することで、男性育休取得の取組みが十分なのか、十分でないなら、さらにどういった企業として取組みが必要かを企業自身が把握し改善していくことに繋がられる

企業

1. 従業員の育休の取得日数をとりまとめ把握する
2. 改善のための計画を作る
3. 1と2をHP等で公表

報告

認証

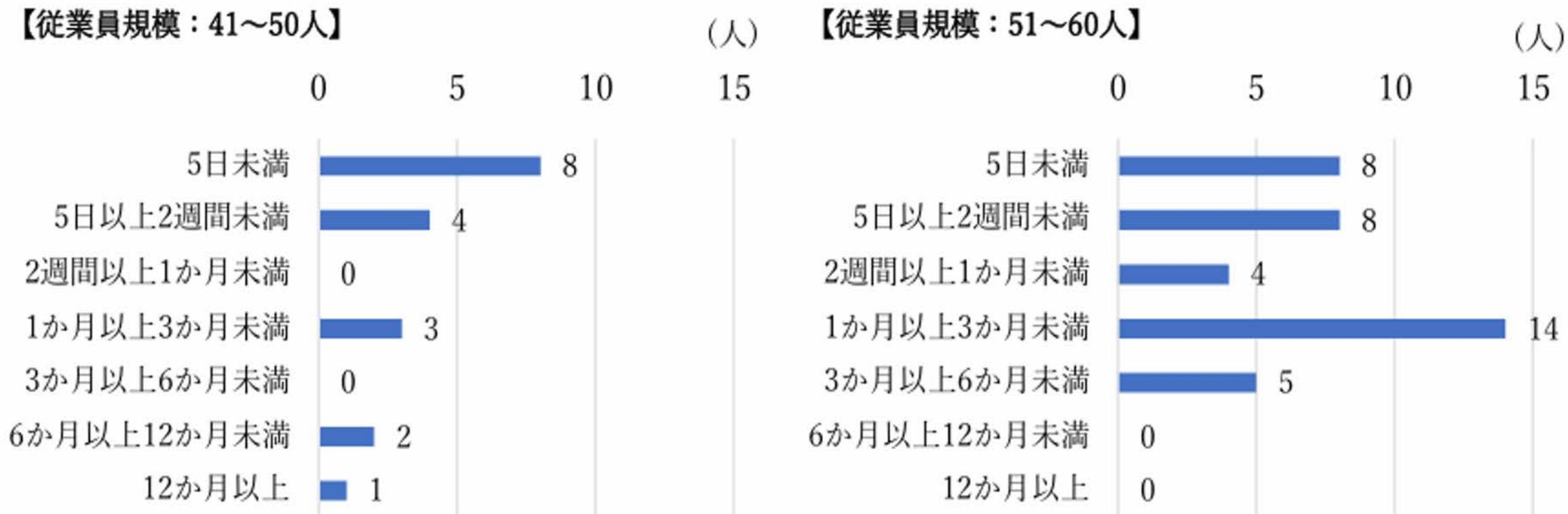
宮城県

1. 「みやぎ子育てにやさしい企業」の認証制度の要件の1つとする
2. HPで公表し周知する



提言4. 男性育休取得の期間別人数公表

公表のイメージ：



提言 4. 男性育休取得の期間別人数公表と内容の企業内報告

理想

男性の家事育児への十分な参画(特に育児休業取得中)

既存の取組み

- ▷ なし
→企業独自で取り組む例はある

取組みに不足している点

- ・ 育休中の過ごし方は当事者任せになっており、「取るだけ育休」の問題も指摘されている

取り組むべき課題

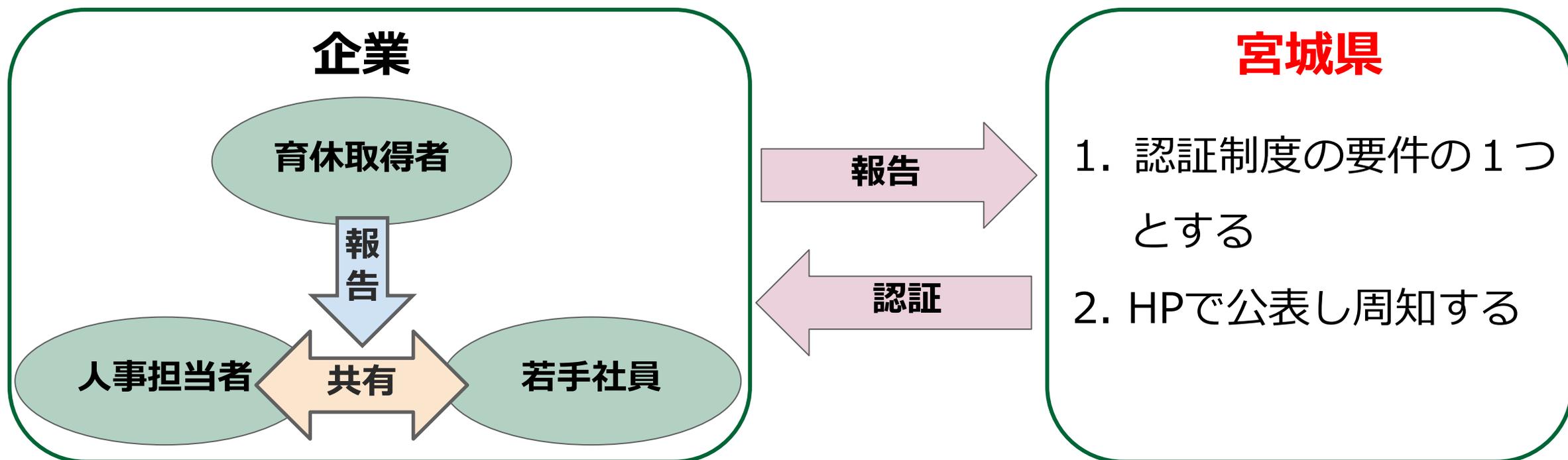
男性育休取得中に家事育児に十分取り組まない人がいる



提言 4. 男性育休取得の企業内報告

提言の効果

男性が育休取得期間中にどんなことをしたか報告してもらい、それが社内で共有されることで、今後子育て当事者になる可能性のある若手社員のロールモデル形成に繋がる



提言4. 男性育休取得の企業内報告

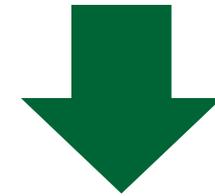
これらの取組みを県全体で進めて行くために、現在行われている「みやぎ子育てにやさしい企業」の中に認証制度を設ける

現行の施策

企業名	取組名	紹介ページ (PDF)	参考URL
株式会社 七十七銀行	育児休業者等を対象とした座談会「Work Work すこやかクラブ」	七十七銀行 座談会 (PDF: 181KB)	https://www.77bank.co.jp/(七十七銀行)(外部サイトへリンク)
株式会社 七十七銀行	職場見学会「七十七 Work Work ファミリーデー」	七十七銀行 職場見学会 (PDF: 184KB)	https://www.77bank.co.jp/(七十七銀行)(外部サイトへリンク)
リコージャパン株式会社	ワークライフ・マネジメントへの取組み～ワークスタイルの変革～	リコージャパン (PDF: 152KB)	http://www.ricoh.co.jp/sales/about/(リコージャパン)(外部サイトへリンク)
株式会社 太田組	子育てできる職場づくり	株式会社 太田組 (PDF: 177KB)	
株式会社 ユーメディア	働き方を誇れる成長企業NO.1を目指して	株式会社 ユーメディア (PDF: 165KB)	http://www.u-media.jp/company/life(株式会社 ユーメディア)(外部サイトへリンク)

認証制度の要件

1. 企業ごとの男性育休取得の期間別人数公表と改善への計画
2. 内容の企業内報告
3. 独自の子育て支援の取組み



これらを行う企業を認証する！



提言5. 職場が支える伴走型支援プロジェクト

理想

育休前後で不安を感じない働き方

既存の取組み

- ▷ 仙台市内の企業
 - ・ 産後に復帰がしやすい働き方
藤崎デパート（スポットフルタイム離職防止）
東北電力（時短勤務）

取組みに不足している点

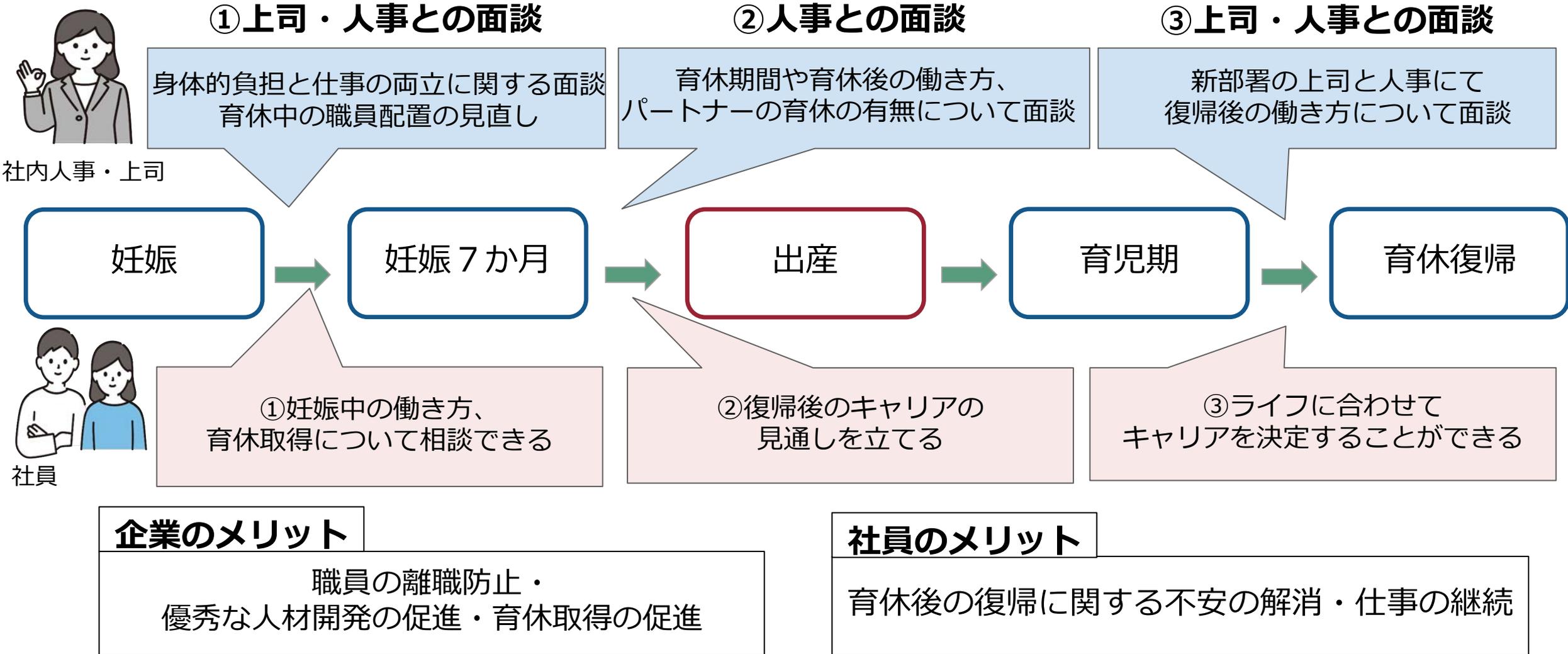
- ・ 産前から支援をしている企業が少ない
- ・ 企業において、育休前に育休後の働き方について考える機会が不十分

取り組むべき課題

1. 育休取得をしたい男女が育休前に働き方を考える機会が不十分
2. 特に男性は、キャリア中断を心配し、育休取得が困難



提言5. 職場が支える伴走型支援プロジェクト



参考
 ・株式会社薬王堂ヒアリング
 ・関・空間設計ヒアリング



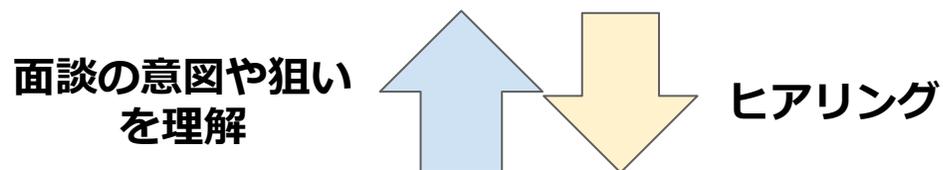
提言5. 職場が支える伴走型支援プロジェクト

提言の効果

1. 従業員が育休取得に不安を感じにくくなる
2. 育休取得とキャリア追求が共に可能な企業であることを周知できる

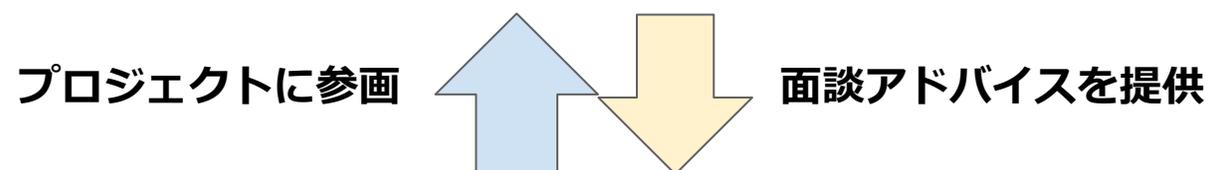
仙台こども財団「伴走型支援プロジェクト」

1. 参考事例へのヒアリングを通して知恵を獲得
2. 参加企業を募集し、面談実施の際のアドバイスを提供、参画企業をHPで紹介



先行事例企業

株式会社薬王堂、株式会社Panasonic、
大和リース株式会社仙台支店



仙台市

1. プロジェクトに参画
2. 面談実施の際のアドバイスを元に、企業内で面談（伴走型支援）を行う



02 - 2 | 各論 【家庭 × 地域コミュニティ】

孤独な育児を解消するための方策



③研究の方向性 5. 各論に向けたまとめ

社会

固定化されたジェンダー規範

- ・ バイアス解消プログラム
- ・ 伴走型支援プロジェクト
- ・ 育休取得チャレンジ企業との交流
- ・ 男性育休取得の期間別人数公表と内容の企業内報告
- ・ 家事育児シェアチェックの活用

課題：
分業せざるを得ない働き方

家庭

私たち

職場

地域
コミュニティ

課題：
孤独な育児

- ・ 認定こども園などの利活用
- ・ 行政と地域が協働で行う伴走型支援
- ・ 地域の孫育てプロジェクト
- ・ 大学ボランティア制度導入

課題：
労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

- ・ 地域主催の企業版両親教室
- ・ 両親教室子育てサポーター



前提① 「孤独な育児」とは何か 着目した理由

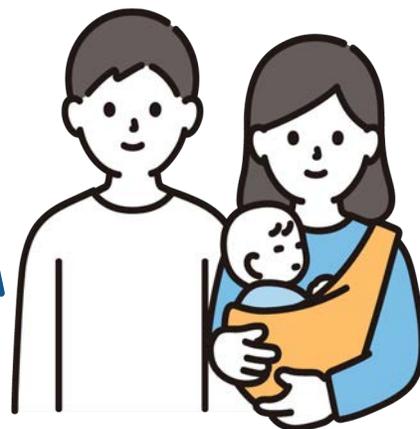
「孤独な育児」とは何か

「誰ともつながれない」

(『母の壁』 6頁)

家族、職場、地域社会のいずれにも
頼ることができない状態のこと。

『母の壁』では、主に母親を対象にして
「孤独の育児」を提起しているが、
WSBではその対象を男性にも拡大し、
「子育て当事者」全体の置かれている
状態を指す。



着目した理由

地域のつながりが希薄化するなかで、
子どもを産み育てる上で困ったときに
周囲に頼ることができない、
支援とつながることができない現状を
課題だと感じたため。



前提② 孤独な育児の解消について

「孤独の育児」を解消するイメージ図

子育て号

受援力

困ったときに
必要な支援先や場所を
知っており、頼ることができる力があること

車が走り続けられる状態

→望ましい地域コミュニティ
の在り方

人材確保

子育てを直接支える
保育士や保健師等だけ
でなく、地域で子育て
支援活動を行なうNPO
スタッフやボランティア
がいること

② 行政と地域の伴走型支援

受
援
力

人
材
確
保

③ 大学生の単位認定制度

④ 地域の孫育てプロジェクト

場所の確保

① 地域コミュニティ活動の拠点としての認定こども園などの利活用



提言 6. 地域コミュニティ活動の拠点としての認定こども園などの利活用

理想

子育て支援者/団体が、子育て支援活動に必要な場所を確保でき、
充実した活動を展開できる状態

既存の取組み

- ▷ 仙台市
 - ・ 保育施設の園庭開放
→ 月～金 10:00前後～15:00前後の開放
 - ・ 地域子育て支援事業

取組みに不足している点

- ・ 市民センターにおいて、子どもが安心して利用しやすい仕様になっていない
- ・ 園庭開放は遊び場としての提供に留まる
- ・ 児童館は存在するが、親子イベントは土日に開催されておらず、共働き家庭の参加が難しい

取り組むべき課題

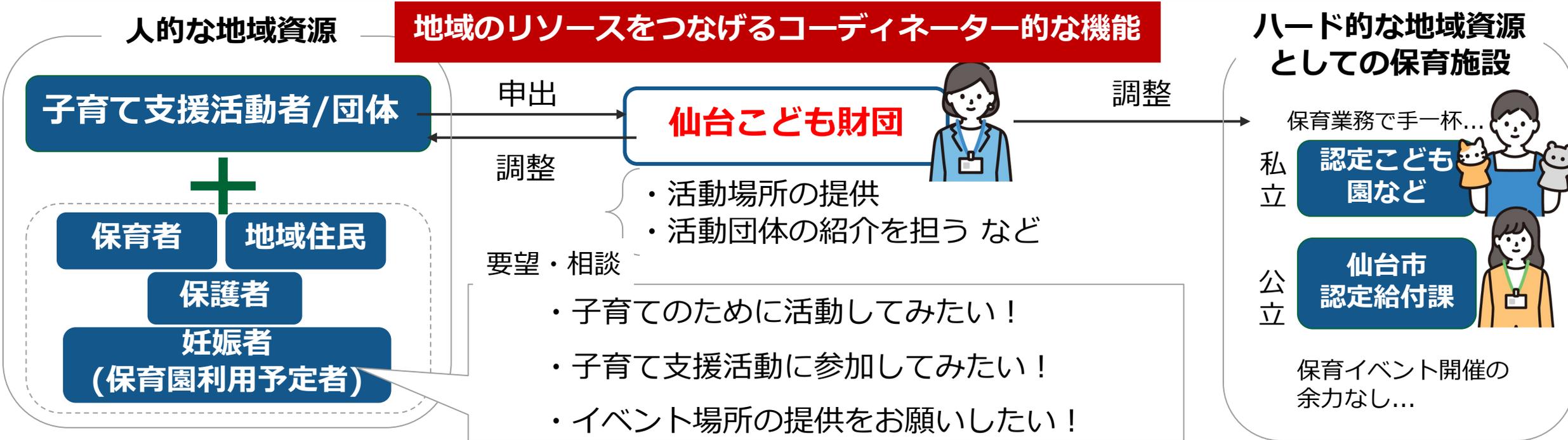
1. 子育て当事者や支援者等が身近な地域で活動を展開するための場所が不足している
2. 認定こども園の「地域に開かれて地域に活用する」役割の拡充



提言6. 地域コミュニティ活動の拠点としての認定こども園などの利活用

提言の効果

1. 身近な場所(認定こども園などの保育施設)で地域子育て支援活動が活発になる
2. 地域における子どもの健全な育ち、保護者や養育者の安心と成長、地域の子育て力の向上が期待できる



提言 7. 行政と地域が協働で行う伴走型支援

理想

出産前から、地域子育て支援拠点と「つながり」をもっている

既存の取組み

▷仙台市

- ・ 妊娠8か月時のアンケート
→ 保健師等と面談を希望した者のみ対応

▷天童市

- ・ 要支援者を中心に妊娠後期の健康相談

取組みに不足している点

- ・ 妊娠後期の面談は多くの自治体で希望者か要支援者を主な対象としているため、全員と接点がない

取り組むべき課題

出産直前に妊婦との接点が少なく、地域子育て支援拠点につながれないまま出産をむかえ、育児期に頼れる場所がわからない



地域子育て支援拠点とは

親子・家庭・地域社会の交わりをつくりだす場

親同士の
出会いと
交流の場

親は親で
支えあい、
子どもは子ども
で育ちあう

地域子育て
支援拠点



子どもたちが
自由に遊び
かかわりあう場

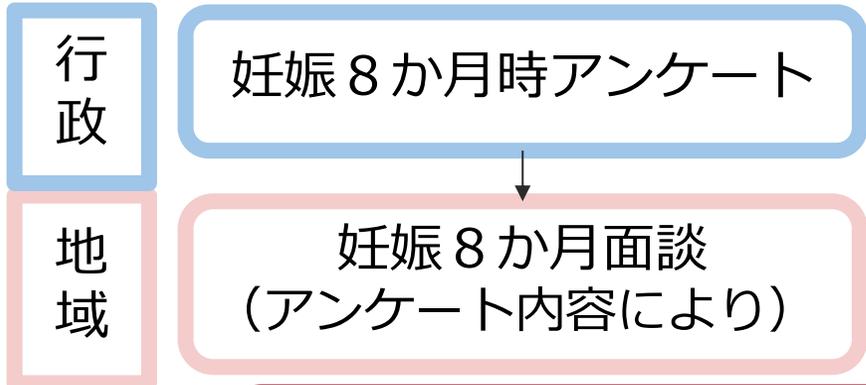
地域の人たちが
親子を温かく
見守る



提言7. 行政と地域が協働で行う伴走型支援

東京都世田谷区

世田谷版ネウボラ（妊娠期から就学前までの切れ目ない支援）



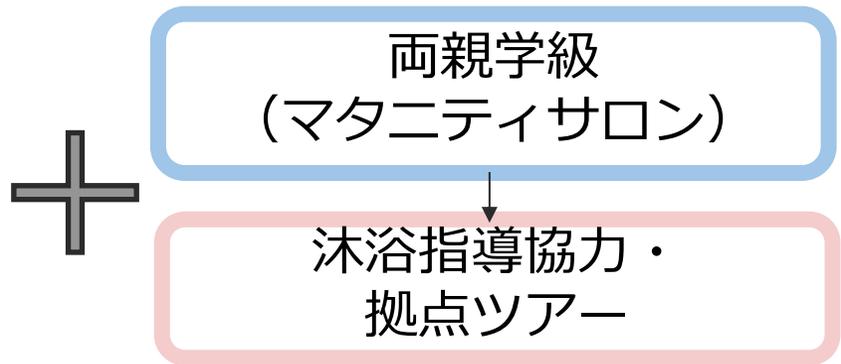
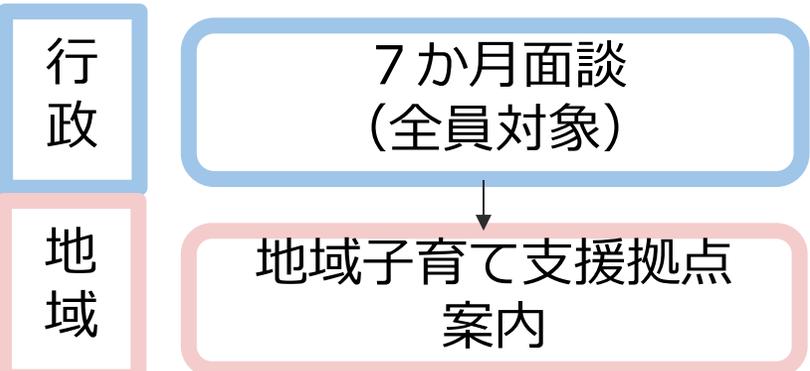
- ＜ネウボラ・チーム＞
- ・ 地区担当保健師
 - ・ 母子保健コーディネーター
 - ・ こども家庭支援センター子育て応援相談員
 - ・ 地域子育て支援コーディネーター



行政と地域が協働で伴走型支援を行っている

山口県宇部市

地域子育て支援拠点と母子保健の連携



母子保健の専門機関としての支援機能

拠点としての支援機能



参考 「ネウボラ」フィンランド語で「相談・アドバイスの場所」を意味する。フィンランドでは、妊娠期から就学前までかかりつけの専門職により、ワンストップで継続的に母子とその家族の相談・支援が行われている。

出典 ・ 宇部市HP、世田谷区HP



提言7. 行政と地域が協働で行う伴走型支援



妊娠届提出

- 保健師等との面談
- 地域子育て支援拠点に関する情報提供

妊娠後期
全員対象アンケート
(行政)

アンケート内容に応じた支援の提供

① 保健師等の面談
(行政)

② 子育て支援コーディネーターと面談
(地域)

③ 両親教室
(行政・地域)

④ 子育て支援拠点
ツアー (地域)

出産前から、子育てに関する地域の支援とつながっている

提言の効果

受援力の向上、孤独な育児の解消



提言 8. 単位認定制度で大学生の子育て支援ボランティア活動の拡大

理想

地域の子育て支援に多様な世代が参加し、特に社会生活スタート前の大学生が地域の子育て支援活動と接点を持っている状態

既存の取組み

- ▷ 仙台市内の大学
 - ・ 東北工業大学・東北福祉大学
→ 全学で単位認定制度あり
 - ・ 宮城学院女子大学、宮城大学
→ 制限付きで単位認定

取組みに不足している点

- ・ ボランティア活動単位認定制度の有無はバラバラ
- ・ 学生のボランティア参加率向上の余地がある

取り組むべき課題

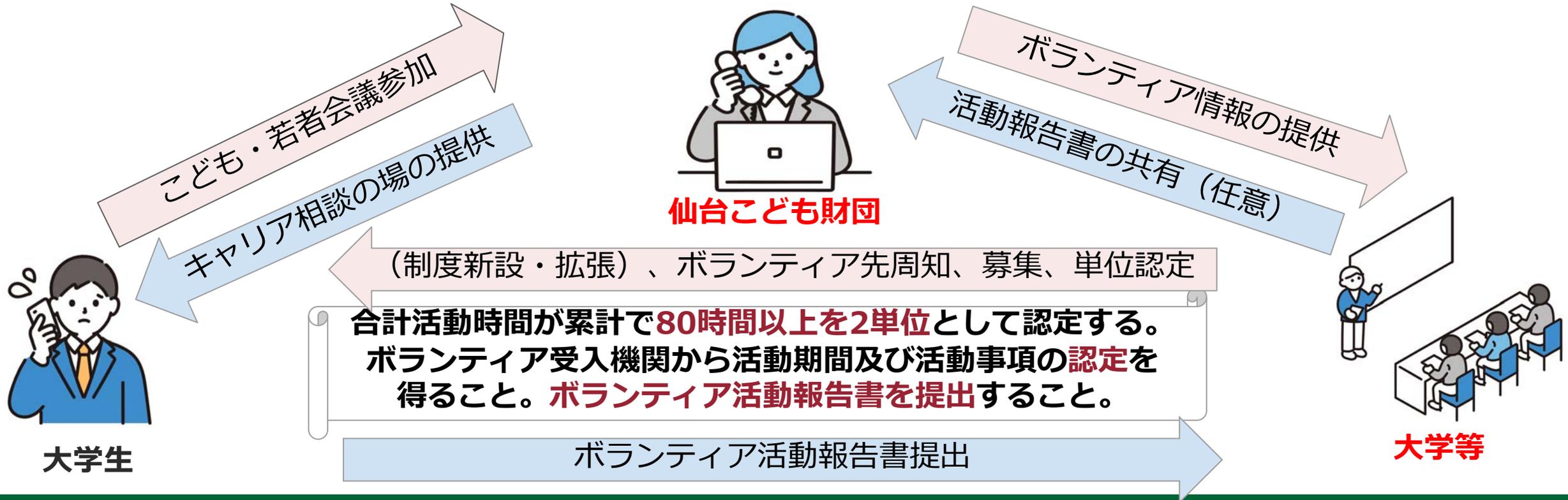
社会生活開始前の大学生にとって、
子育てと接点を持つきっかけが不足している



提言 8. 単位認定制度で大学生の子育て支援ボランティア活動の拡大

提言の効果

1. 子育て支援に関わるきっかけづくり
2. 生涯を通じた様々なステージでの子育て支援活動への参加が期待可能
3. 地域の子育て支援人材の厚みが増す



提言9. 地域の孫育てプロジェクト(孫休暇×地域子育て団体)

理想

高齢者も含めた、様々な世代の人々が地域の子育てに関わり、
子育て支援人材の厚みと多様性が増す

既存の取組み

- ▷ 宮城県
 - ・ 宮城県庁 → 自治体では初の孫休暇導入
- ▷ 仙台市
 - ・ 仙台すくすくサポート事業 → 子育ての終わった中高齢者が研修を受け、子育て支援活動に参加

取組みに不足している点

- ・ 子育て支援に関わる層が偏っている
→ 子育て当事者や子育てが終わった後の母親など
- ・ 就業している高齢者が増加していることで、
子育て支援活動に参加しにくい

取り組むべき課題

働いている高齢者の地域の子育て支援活動への参加が難しくなっている



企業の孫休暇制度の導入と高齢者層を対象とした子育てに関する研修の実施

孫休暇

第一生命が最初に導入し、宮城県庁や岡山市役所などで取り入れられている、従業員に孫ができた場合、孫の育児を手伝うために休暇を取得できる制度。定年延長などによって働く高齢者が増えたことから、孫の育児に関われるように、導入するところが増えつつある。

東京都港区の子育てひろば「あい・ぽーと」が行っている 子育て支援員研修

2005年に地域の子育て力の向上と女性の社会参加支援を目的に、地域の子育て支援者を養成する事業を港区と連携して開始。シニア層に対して、子育てや職場での豊かな人生経験を活かしつつ、世代の差や現在の子育て事情について理解した上で子育て支援活動に関わってもらえるよう、内容の充実した研修を実施している。



提言9. 地域の孫育てプロジェクト(孫休暇×地域子育て団体)

提言の効果

働いている高齢者でも地域の子育てに参加でき、子育てしている親子が様々な世代にふれあうことで、こどもが多様な経験をすることができる



企業の紹介・研修依頼
財団との連携

仙台こども財団

1. 孫休暇の導入にチャレンジしたい企業にサポートを行う
2. 地域の子育て拠点に、孫休暇を導入した企業を繋げる
3. 孫育ての研修を依頼する

孫休暇の導入支援
導入支援依頼



現役世代への理解も深まる

子育て拠点

孫休暇取得者に

1. 現在の子育て事情を理解していただける研修を実施する
2. 地域の子育て支援活動への参加を促す

企業とNPOなどの子育て拠点とのつながりが生まれる

企業

1. 孫休暇の導入を進める
2. 孫と良い関わりをもてる孫休暇となるよう、従業員に子育て支援拠点が行う研修の受講を促す



02 - 3 | 各論 【職場 × 地域コミュニティ】

労働参加が進んだことによる地域コミュニティ機能の弱体化
を改善するための方策



③研究の方向性 5. 各論に向けたまとめ

社会

固定化されたジェンダー規範

- ・ バイアス解消プログラム
- ・ 伴走型支援プロジェクト
- ・ 育休取得チャレンジ企業との交流
- ・ 男性育休取得の期間別人数公表と内容の企業内報告
- ・ 家事育児シェアチェックの活用

課題：
分業せざるを得ない働き方

家庭

私たち

職場

地域
コミュニティ

課題：
孤独な育児

- ・ 認定こども園などの利活用
- ・ 行政と地域が協働で行う伴走型支援
- ・ 地域の孫育てプロジェクト
- ・ 大学ボランティア制度導入

課題：
労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化

- ・ 地域主催の企業版両親教室
- ・ 両親教室子育てサポーター



子育てを取り巻く環境の変化

過去

地域にいる（義）両親、親戚、
住民による子育て



現在

地域人材が職場へ



夫婦のみで子育て



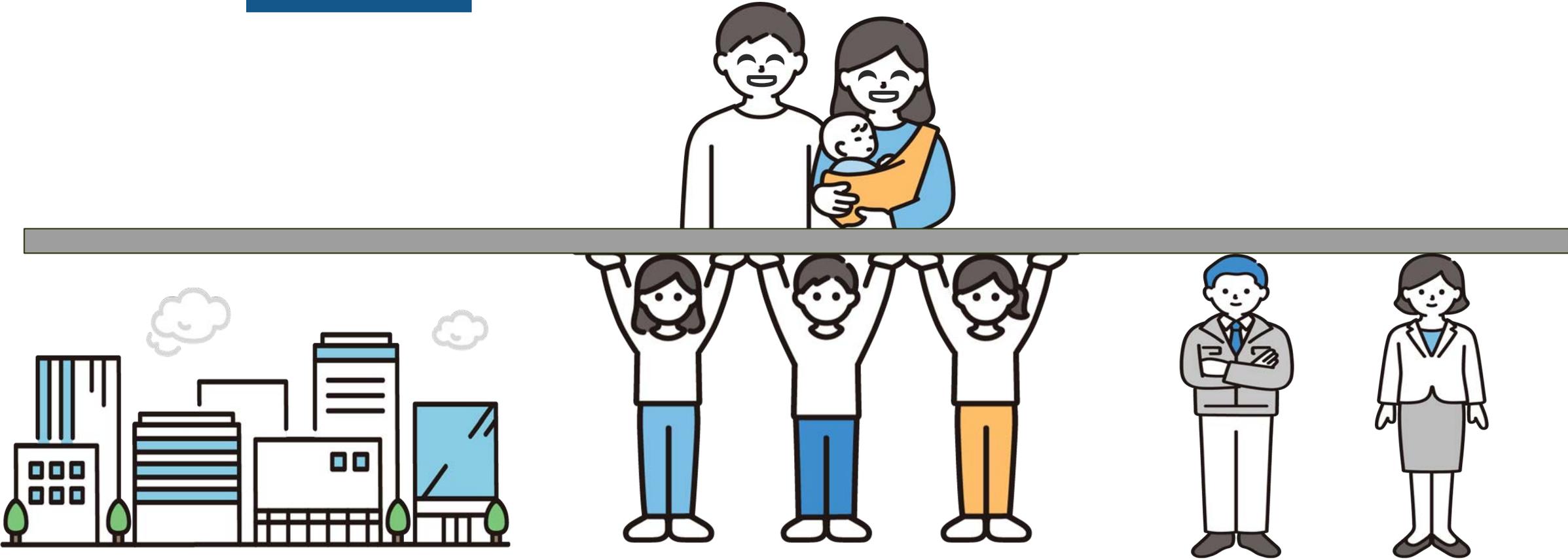
過去に子育てを支えていた地域人材が職場に行き、夫婦のみで子育てを行っている状態



子育てを取り巻く環境の変化

理想

多様なアクター（企業・NPO・行政）による子育て



企業も地域のNPO、行政と協力し、子育て世帯を支える



労働参加が進んだことによる地域コミュニティ機能の弱体化の改善に向けた方向性

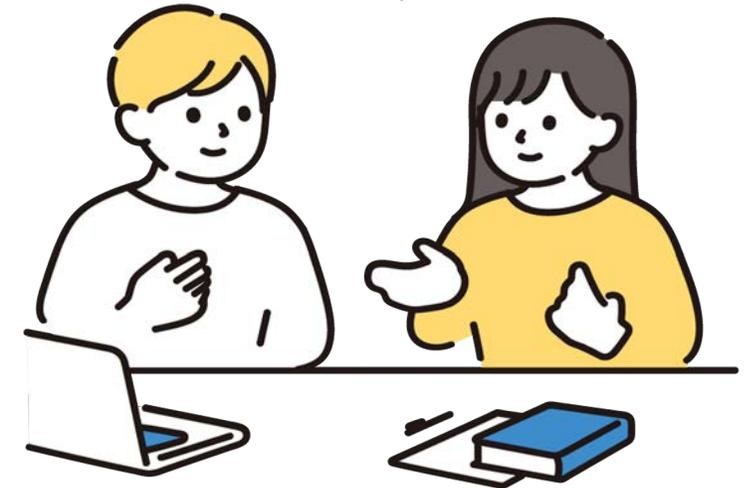
地域人材の不足により、子育て支援体制の弱体化



1. 地域主催の企業版両親教室
2. 両親教室参加者による子育てサポーターを通じて、企業も参画して地域ぐるみで子育てを支える社会



地域と企業が連携した子育て体制の確立



地域と企業が相互に助け合える子育て支援の実現を目指す



なぜ両親教室が重要か

男女ともに育児の基礎を学べる共育ての出発点



提言10. 地域主催の企業版両親教室

理想

性別に関わらず子育てについて学ぶ機会が保障され、
育児に参画できる社会

既存の取組み

- ▷ 仙台市
 - ・ 行政主催両親教室平日に区役所、総合支所のびすく仙台：月に1~2回限定8組
- ▷ 天童市
 - ・ 行政主催両親教室年8日、わらべ館：月1回

取組みに不足している点

- ・ 行政主催の両親教室は平日開催
- ・ 一部NPOが土日に開催するが、参加希望に対応できていない

取り組むべき課題

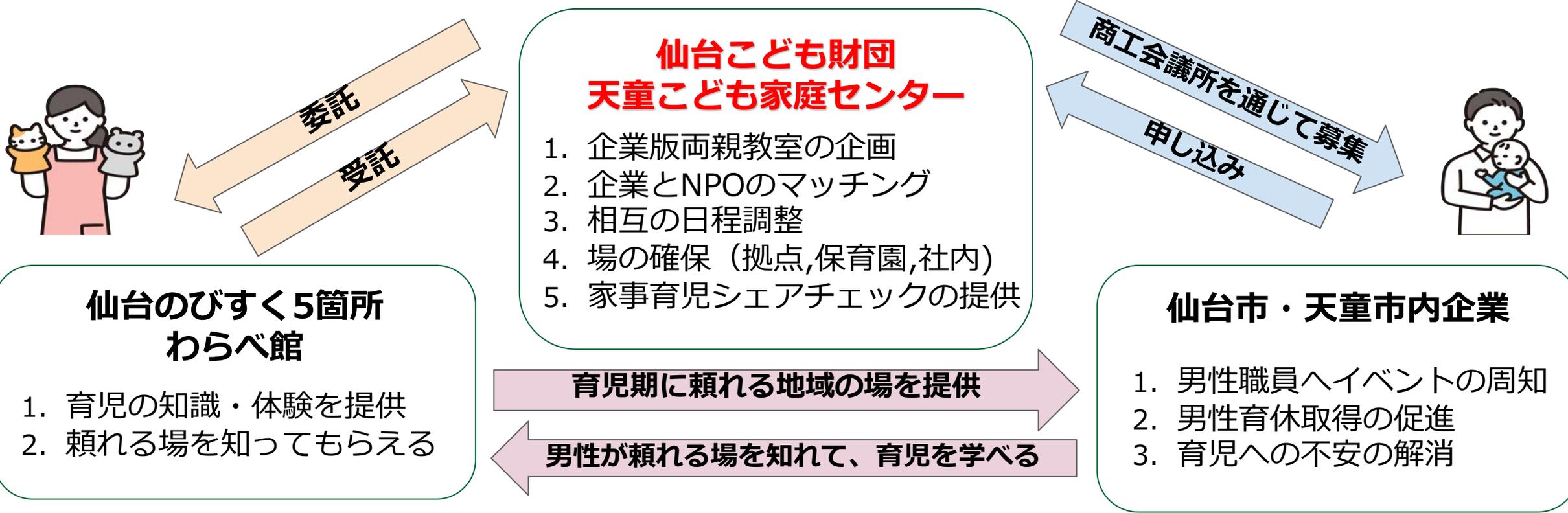
特に男性が、育児について実践的に学べる機会が不足



提言10. 地域主催の企業版両親教室

提言の効果

育児前の男性が子育てについて学ぶ機会が保障され、
1. 支援先を知る 2. 産前に育児に関する不安を解消 3. 育児休業取得の促進



参考
・ 江崎グリコ株式会社「みんなの育休研修」
・ 楽天グループ株式会社「楽天市場Preママパパワークショップ」



両親教室の実際の様子

楽天グループ株式会社とせたがや子育てネットが共同で企業版両親教室を開催(12.7)

福田さんの育児体験



育児当事者の気持ちになって育児について学ぶことができた。自分の将来にも生かして行きたい。

参加無料
申込先着順

第1回
楽天市場
Pre ママパパ
ワークショップ
Rakuten

妊婦中、出産、育児に役立つ「楽しくておトクな」情報がいっぱい、
楽天が主催するワークショップイベントです。

知る
赤ちゃんとの過ごし方ミニセミナー

体験する
楽天市場で人気の商品をチェック

買える
楽天市場で使えるクーポンプレゼント

2024 12/7 (土) 10:00-12:00 / 14:00-16:00
楽天市場 仙台駅前店 4F

いつになったら戻る？産後のママのからだところ

ちよつとクイズ！表の項目は産後いつ頃になると思いますが？

赤ちゃんを迎えてからの家事育児について

家事育児のポイント

- 妊娠中から家事のシミュレーション
- 家事育児の共同責任者としての気持ち
- 「一人じゃ無理」を認め、ストレートに「助けてほしい」を伝える
- 「助けてほしい」よりも具体的に話す

最大のポイント

自分やパートナーだけの家事育児には限界が！
チームで取り組みましょう



両親教室参加者（父親）による子育てサポーター

理想

男性が子育てをするロールモデルを見つける
 子育て参画した男性が将来の男性にとって新たなロールモデルとなる

既存の取組み

- ▷ 仙台市
 - ・ のびすく：助産師サロン（ママ交流）
 パパ楽校（産後の父親対象）、子育て養成講座
- ▷ 天童市
 - ・ わらべ館：プレママ講座、ファミサポボランティア

取組みに不足している点

- ・ 同じ地域に住む父親がどのように子育てをしているかわからない
- ・ 地域の子育て人材の不足

取り組むべき課題

1. 同地域で育児中の父親と育児前の父親が交流する機会が不足
2. 地域における男性の子育て人材が不足



提言11. 両親教室参加者による子育てサポーター

提言の効果

育児前の父親が同地域に住む育児中の父親と交流し、
 1. 地域での子育ての解像度があがる 2. 父親の地域人材の確保に繋がる

既存のびすく仙台・泉中央・わらべ館
 （両親教室・パパ交流イベント等）



育児前の父親



- ・ 育児に関する知識を共有
- ・ どの施設で遊んだら良いか等
- ・ 地域に先輩父親がいることの安心感

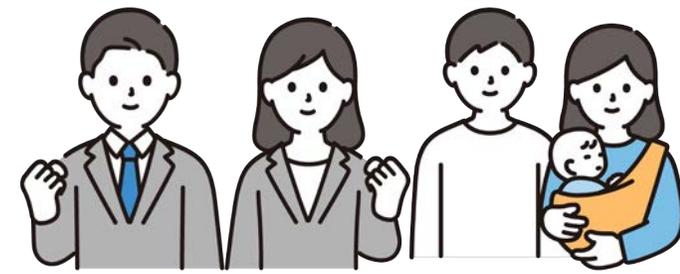


提言10で企業両親教室の参加者が
 プレパパママサポーターとして参加



03 | まとめ





分業せざるを得ない働き方の改善

STEP1
(気づく)

行政と商工会議所による
バイアス解消プログラム

STEP2
(自分ごとにする)

- ・ パパ育休取得チャレンジ
対象企業との交流会
- ・ 男性育休取得の期間別人数公表と
内容の企業内報告
- ・ 家事育児シェアチェックの活用

STEP3
(行動する)

- ・ 職場が支える伴走型支援プロジェクト
- ・ 「みやぎ子育てにやさしい企業」認証制度化

「分業せざるを得ない働き方」の改善により、
子どもを産み育てる上で壁の少ない社会の実現へ



【家庭 × 地域コミュニティ】



孤独な育児の解消

受援力を
高める

行政と地域が協働で行う
伴走型支援

人材不足
解消

大学ボランティア制度
地域の孫育てプロジェクト

場所を確保する

認定こども園などの利活用

子育て当事者と支援者のつながりが生まれることによって「孤独な育児」が解消され、
子どもを産み育てる上で壁の少ない社会の実現へ



【職場 × 地域コミュニティ】



労働参加が進んだことによる
地域コミュニティ機能の弱体化
の改善

企業も参画して地域
ぐるみで子育てを
支える社会

地域と企業が連携して
子育て機運を上昇

地域主催の
企業版両親教室

地域と企業人材の循環
両親教室父親サポーター

「労働参加が進んだことによる地域コミュニティ機能の弱体化」という課題の改善により、
子どもを産み育てる上で壁の少ない社会へ



研究目標

大目標：誰もが理想のライフプランを描ける社会

中目標：子どもを産み育てる上で壁の少ない社会

身近に頼れる環境をつくる

職場

家庭

地域
コミュニティ

孤独の育児

分業せざるを得ない働き方

労働参加が進んだことによるコミュニティ機能の弱体化



研究活動を通して

プロジェクトBのシラバスより

“様々な要因が複雑に絡み合っていて生じている
少子化の問題の根深さ故に、
この問題はそう簡単に解決策が見つけれられるものではない。
しかし、そうであるからこそ、
これから社会に出て家庭を築いていく皆さんに
考えていただきたいテーマであると考えている。”

研究活動を通して



これから社会に出て家庭を築いていく当事者として、マイナスや不安をもっていましたが、良い未来を描けるようになった。



子育て支援の中では、直接こどもに関わる政策だけではなく、労働分野や地域分野など、様々な分野、人へのアプローチ方法があることを知った。



当事者として、どんな社会であれば自分が子育てをしたいと思えるか、子育てがしやすいかを意識して課題に取り組んだ。



政策はそれぞれの課題を解決するものであるが、本質的には人びとの人生についての社会のグランドデザインを描く必要があると感じた。



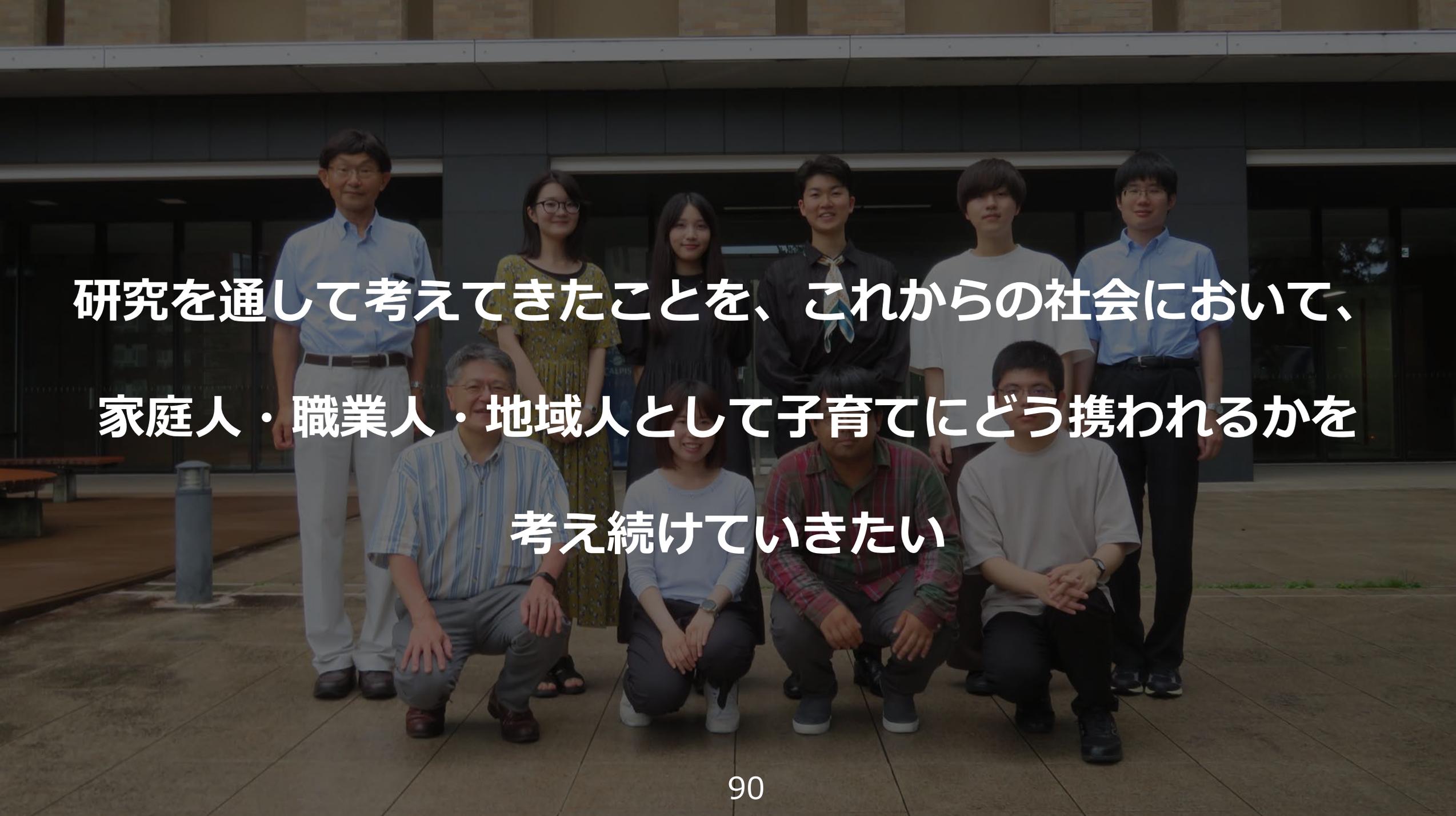
少子化問題に関する多様な「声」を聞き、それを研究として理論化する難しさに挑んだ。課題があるだけでは政策にならないことを知った。



自分が持っている様々なバイアスについて考えるきっかけになった。チームメンバー、先生ともに素敵な方々だったので、楽しんで研究を続けることができた。



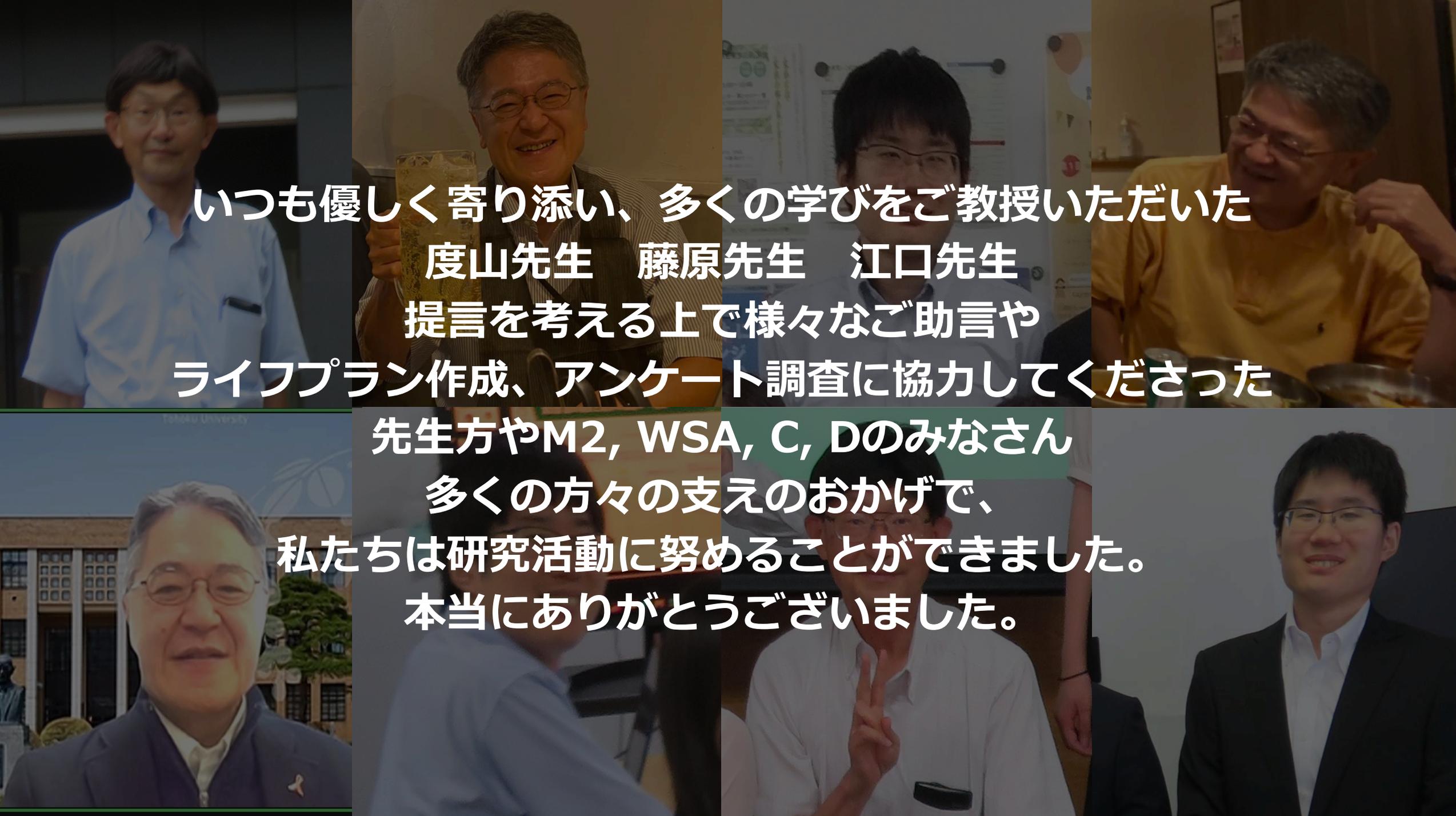
当事者として真正面から、少子化という課題に向き合い、自身の意識も変えることができた。制度から人々の意識を変えられる可能性を感じた。



研究を通して考えてきたことを、これからの社会において、
家庭人・職業人・地域人として子育てにどう携われるかを
考え続けていきたい

御礼

宮城県庁、天童市、仙台こども財団、のびすく仙台、宮城労働局、SONY株式会社、
せたがや子育てネット、こども家庭庁、内閣府男女共同参画局、厚生労働省、流山市、
株式会社関・空間設計、株式会社藤崎デパート、江崎グリコ株式会社、泉こどもチェリー保育園、
気仙沼市、アサヤ株式会社、マザー・ウイング、
アンジュ・ママン、三浦まり先生、塩竈市、豊岡市、仙台市、岩手県庁、株式会社薬王堂、
株式会社ベアレン醸造所、東北活性化研究センター、
楽天グループ株式会社、なないろキッズ、片平市民センター・児童館



いつも優しく寄り添い、多くの学びをご教授いただいた
度山先生 藤原先生 江口先生
提言を考える上で様々なご助言や
ライフプラン作成、アンケート調査に協力してくださった
先生方やM2, WSA, C, Dのみなさん
多くの方々の支えのおかげで、
私たちは研究活動に努めることができました。
本当にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました!



参考文献・補足資料



参考文献: そのほかの書籍

- 天野馨南子(2024)『まちがいだらけの少子化対策』金融財政事情研究会
(2021)『未婚化する日本』白秋社
- 河野稠果(2007)『人口学への招待』中央公論新社
- 川東英子(2018)『ジェンダー労働論 雇用の男女平等をめざす日本と世界』
- 香取照幸(2017)『教養としての社会保障』東洋経済新報社
(2021)『民主主義のための社会保障』東洋経済新報社
- 柴田悠(2021)『子育て支援と経済成長』朝日新聞出版
- 周燕飛(2019)『貧困専業主婦』新潮社
- 多賀太(2022)『ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方』時事通信社 New版
- ダフナ・ジョエル、ルバ・ヴィハンスキ(2021)『ジェンダーと脳』紀伊國屋書店
- 筒井淳也(2015)『仕事と家族』中央公論新社
(2016)『結婚と家族のこれから』光文社
(2023)『未婚と少子化』PHP研究所
- 中貝宗治(2023)『なぜ豊岡は世界に注目されるのか』集英社
- 中野円佳(2023)『なぜ共働きも専業主婦もしんどいのか 主婦がいないと回らない構造』PHP研究所
- 濱口桂一郎(2015)『働く女子の運命』文藝春秋
- 濱口桂一郎(2021)『ジョブ型雇用社会とは何か』岩波書店
- 浜田敬子(2022)『男性中心企業の終焉』文藝春秋
- 前田正子(2023)『母の壁』岩波書店
- 牧野百恵(2023)『ジェンダー格差』中央公論新社
- 増田寛也(2014)『地方消滅』中央公論新社
- 末富芳ほか(2021)『子育て罰』光文社
- 宮本太郎(2021)『貧困・介護・育児の政治』朝日新聞出版
- メアリー・C・ブリントン、池村千秋訳(2022)『縛られる日本人』中央公論新社
- 目黒依子(2012)『揺らぐ男性のジェンダー意識 仕事・家族・介護』
- 谷沢英夫(2012)『スウェーデンの少子化対策』日本評論社
- 山崎史郎(2017)『人口減少と社会保障』中央公論新社
- 山田昌弘(2020)『日本の少子化対策はなぜ失敗したのか?』光文社

【雑誌論文】

Olivier Thévenon (2011), "Family Policies in OECD Countries: A Comparative Analysis", *Population and Development Review*, 37: 57-87. <https://doi.org/10.1111/j.1728-4457.2011.00390.x>
(2024年12月14日閲覧)

【データベース】

OECD. Social Expenditure Database (Last updated: November 16, 2023 at 6:11:37PM). https://data-explorer.oecd.org/vis?fs%5B0%5D=Topic%2C1%7CSociety%23SOC%23%7CSocial%20protection%23SOC_PRO%23&pg=0&fc=Topic&bp=true&snb=12&df%5Bds%5D=dsDisseminateFinalDMZ&df%5Bid%5D=DSD_SOCX_AGG%40DF_SOCX_AGG&df%5Baq%5D=OECD.ELS.SPD&df%5Bvs%5D=1.0&pd=2010%2C&dq=.A..PT_B1GQ.ES10.T.&to%5BTIME_PERIOD%5D=false&vw=tb(2024年12月6日閲覧)



参考文献: インターネット①

東北大学公共政策大学院『2024年度講義要項』

岩手県(2024)「『いわて一斉!家事育児シェア大作戦!』夫婦でがっつりシェア率診断シート」

<https://www5.pref.iwate.jp/%7Ehp0313/housework_share/shindan/data/shindan_sheet.pdf>(2024年12月10日閲覧)

岩手県(2024)「『いわて一斉!家事育児シェア大作戦!』夫婦でさくっとシェア率診断」

<https://www5.pref.iwate.jp/%7Ehp0313/housework_share/shindan/share_check.html>(2024年12月10日閲覧)

江崎グリコ株式会社「ユニ・チャーム×Glicoコラボ 企業向け両親学級「みんなの育休研修」が始動!」<<https://www.glico.com/jp/health/contents/ikukyuu/>> (2024年12月10日閲覧)

株式会社平和堂(2023)「NEWS RELEASE」<https://www.heiwado.jp/assets/img/news/2023/pdf/0313_ikuyu.pdf> (2024年12月10日閲覧)

経済産業省 東北経済産業局(2024)「東北地域の現状と課題(データ編)」<https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/vision/pdf/22chuki_kon3_4-3.pdf> (2024年7月14日閲覧)

厚生労働省 (2024)「令和5年(2023)人口動態統計月報年計(確定数)の概況」<

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei23/index.html>> (2024年7月14日閲覧)

厚生労働省 (2024)「第1表 人口動態総覧(率)の年次推移」<

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai23/dl/h2.pdf>>(2024年7月14日閲覧)

厚生労働省 (2024)「第9表 人口動態総覧(率),都道府県(特別区-指定都市再掲)別」

<<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai23/dl/h9.pdf>>(2024年7月14日閲覧)

厚生労働省「図表1-1-3 共働き等世帯数の年次推移」<<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/20/backdata/1-1-3.html>> (2024年12月10日閲覧)

厚生労働省「大学における福祉ボランティアによる単位取得①」<<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000rkqz-img/2r9852000000rkxs.pdf>> (12月10日閲覧)

厚生労働省(2023)「令和5年度育児休業取得率の調査結果公表、改正育児・介護休業法等の概要について」

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/assets/pdf/event/report_R5_2.pdf>(2024年12月14日閲覧)

厚生労働省(2024)「『令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査』報告書」<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/assets/pdf/event/report_R5.pdf>(2024年12月14日閲覧)

厚生労働省(2024)「2025年4月から、男性労働者の育児休業取得率等の公表が従業員が300人超1,000人以下の企業にも義務化されます」

<<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/001029776.pdf>>(2024年12月14日閲覧)

こども家庭庁「幼児期までのこどもの育ちに係る基本ビジョンはじめの100ヶ月育ちビジョン」<

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/6e941788-9609-4ba2-8242-42f004f9599e/e8bc8f9f/20230928_policies_kodomo_sodachi_11.pdf> (2024年12月14日閲覧)



参考文献: インターネット②

こども家庭庁(2024)「こども未来戦略」(2024年7月14日閲覧)

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_mirai/pdf/kakugikettei_20230613.pdf>

こども家庭庁「こども子育て支援制度」<https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/3a1576c7-071d-4325-8be8-edced6d12ee1/f963da27/policies-kodomo-kosodate-seido.pdf>(2024年7月14日閲覧)

こども家庭庁「基準を満たさない認可外保育施設の無償化に関する経過措置について」<https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/3161da95-fcbe-42f1-9f83-e92a6267552b/5d8e9aae/20231121_councils_shingikai_kodomo_kosodate_2BH1psuV_09.pdf>(2024年7月14日閲覧)

子ども・子育て支援等分科会「公定価格の処遇改善等加算Ⅰ～Ⅲの一本化について」<https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/481073ad-6d4f-4ddb-9f39-13370dbcef18/47e7704d/20240219_councils_shingikai_kodomo_kosodate_YQvq3ixl_09.pdf>(2024年7月14日閲覧)

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会「保育士修学資金貸付事業」<<https://www.miyagi-sfk.net/school-expenses-fund/page-581/>>(2024年7月14日閲覧)

仙台市「一3年連続待機児童ゼロ達成—令和6年4月1日現在の保育施設等の利用待機児童数について(発表資料)」最終閲覧日2024/07/14

<<https://www.city.sendai.jp/sesakukoho/gaiyo/shichoshitsu/kaiken/2024/05/07taikijidou2.html>>

仙台市(2024)「月別の推計人口及び人口動態(令和6年)」<https://www.city.sendai.jp/chosatoke/shise/toke/jinko/suikei_r06.html>(2024年7月14日閲覧)

仙台市(2024)「男性育休取得チャレンジ企業創出事業(仙台こども財団)」<https://www.city.sendai.jp/kodomo-somu/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/ryoritsushien/danseiikukyu_model.html>(2024年12月14日閲覧)

仙台市(2024)「男性向けの子育て支援情報をご紹介します」<<https://www.city.sendai.jp/kodomo-somu/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/ryoritsushien/danseimuke.html>>(2024年12月14日閲覧)

仙台市(2024)「推計人口及び人口動態」<<https://www.city.sendai.jp/chosatoke/shise/toke/jinko/suikei.html>>(2024年7月14日閲覧)

仙台市(2024)「少子化について」<<https://www.city.sendai.jp/kodomo-kikaku/syoushikamondai.html>>(2024年7月14日閲覧)

仙台市(2024)「令和2年国勢調査—人口等基本集計結果—」<

https://www.city.sendai.jp/chosatoke/shise/toke/jiho/kokusechosa/r2/documents/00_r02kokuchoukekka_jinkou.pdf>(2024年7月14日閲覧)

仙台市(2024)「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略(人口ビジョン及び総合戦略)」<https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/zaise/kekaku/documents/dainikisougousenryaku_202208teisei_1.pdf>(2024年7月14日閲覧)

仙台市「マミーズクラブ(母親教室)」(2024)<<https://www.city.sendai.jp/aoba-boshihoken/aobaku/madoguchi/ninshin/hahaoya.html>>(2024年12月14日閲覧)



参考文献: インターネット③

- 仙台市「仙台で働く保育士への支援について知りたい」 <<https://www.city.sendai.jp/uneshien-kikaku/hoikunogenba/hoikushihenoshien.html>>(2024年7月14日閲覧)
- 仙台市「のびすくサポーターを募集中です」 <<https://www.city.sendai.jp/kodomo-somu/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/nobisukusupporter/nobisukusupporter.html>>(2024年7月14日閲覧)
- 仙台市「仙台市保育士宿舍借り上げ支援事業補助金について」 <<https://www.city.sendai.jp/kodomo-shido/jigyosha/fukushi/fukushi/hoiku/syukusyahojo.html>>(2024年7月14日閲覧)
- 仙台市就活お役立ちポータルサイト(2024)「仙台で働きたい!」 <<https://sendaidehatarakitai.jp/>>(2024年7月14日閲覧)
- 仙台市(2024)「仙台市内の企業における男性の育児休業取得に関する調査報告書」 <https://www.city.sendai.jp/kodomo-kikaku/documents/danseiikukyuchosa_sendair5.pdf>(2024年12月14日閲覧)
- 仙台市(2024)「母親教室(両親教室)について」 <<https://www.city.sendai.jp/kodomo-chiiki/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/joho/joho/hahaoya.html>>
- 仙台子ども財団(2024)「財団について」 <<https://sendai-kodomo.jp/about/>>(2024年12月14日閲覧)
- 天童市(2024)「令和6年5月末日現在人口」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/toukei/tendosinojinkou.html#%E7%8F%BE%E5%9C%A8%E3%81%AE%E4%BA%BA%E5%8F%A3>>(2024年12月14日閲覧)
- 天童市(2024)「山形県天童市/天童市の人口」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/toukei/tendosinojinkou.html>>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市(2024)「天童市子ども・子育て支援事業計画」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/koucyou/kodomo.kosodate.sienjigyoku.keikaku2.pdf>>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市「第七次天童市総合計画」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/shisaku/2018-0417-1550.pdf>>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市(2024)「天童市男女経小津参画社会推進委員会機関誌ぼっぶ第61号」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/machidukuri/pop61.pdf>>(2024年12月14日閲覧)
- 天童市(2024)「雇用支援」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/busiindust/sangyo/koyoushien.html>>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市(2020)「第二期天童市子ども・子育て支援事業計画最終閲覧日」 <https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/shisaku/2_kodomokosodate.pdf>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市「子育て・入園」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/lifeinfo/kosodate/>>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市「暮らし」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/lifeinfo/ninshin/shu-san.html>>(2024年7月14日閲覧)
- 天童市「両親教室のご案内」 <<https://www.city.tendo.yamagata.jp/lifeinfo/ninshin/r5ryousinkyousitu.pdf>>(2024年12月9日閲覧)
- 天童市わらべ館「プレママ講座」 <<https://warabekan.tendo-kosodate.jp/activity/ac01/>>(2024年12月9日閲覧)
- 東京の自治のあり方研究会(2015)「東京の自治のあり方研究会 最終報告」 <https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/soumu/1501_3>(2024年12月10日閲覧)



参考文献: インターネット④

- 東北活性化研究センター(2024)「若い世代から積極的に選ばれる東北の実現に向けて」<https://www.kasseiken.jp/kassecms/wp-content/uploads/2021/03/210312_02.pdf> (2024年7月14日閲覧)
- 特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク「父親の家事・育児参加推進事業」<https://www.city.sendai.jp/kyodosuishin/kurashi/manabu/npo/shimin/jisshijigyo/sedo/documents/r3houkoku04_chichioyaikuji.pdf> (2024年7月14日閲覧)
- 内閣官房「地域少子化・働き方指標 (第5版)」<<https://www.chisou.go.jp/sousei/info/pdf/r04-12-26-shihyou5.pdf>> (2024年7月14日閲覧)
- 内閣府(2020)「令和2年度 年次経済財政報告 第3章 第2節 2 出生率の決定要因と継続就業」<<https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je20/pdf/p03022.pdf>> (2024年7月14日閲覧)
- 内閣府(2022)「令和4年版 少子化社会対策白書」(2024年7月14日閲覧)
- 内閣府(2023)「令和4年少子化対策白書」(2024年7月14日閲覧)
- 内閣府(2023)「男女共同参画白書 令和4年版 全体版」<<https://www.gender.go.jp/about/danjo/whitepaper/r04/zentai/pdfban.html>> (2024年12月10日閲覧)
- 日本財団「全国学生1万人アンケート～ボランティアに関する意識調査2023～」<https://www.volacen.jp/project/research/survey/no_17/> (2024年12月10日閲覧)
- のびすく「せんだい子育てビギナー」<<https://www.nobisuku-sendai.jp/gakudouhoiku/father.html>> (2024年7月14日閲覧)
- のびすく泉中央(2024)「今月ののびすく泉中央2024年11月のイベントカレンダー」<<https://www.nobisuku-sendai.jp/event-izumi/p-event.cgi?year=2024&month=11#17>> (2024年12月9日閲覧)
- のびすく仙台(2024)「今月ののびすく仙台2024年11月のイベントカレンダー」<<https://www.nobisuku-sendai.jp/event/p-event.cgi?year=2024&month=11>> (2024年12月9日閲覧)
- のびすく長町南(2024)「今月ののびすく長町南2024年11月のイベントカレンダー」<<https://www.nobisuku-sendai.jp/event-nagamachi/p-event.cgi?year=2024&month=11#10>> (2024年12月9日閲覧)
- のびすく宮城野(2024)「今月ののびすく宮城野2024年11月のイベントカレンダー」<<https://www.nobisuku-sendai.jp/event-miyagino/p-event.cgi?year=2024&month=11>> (2024年12月9日閲覧)
- のびすく若林(2024)「今月ののびすく若林2024年11月のイベントカレンダー」<<https://www.nobisuku-sendai.jp/event-wakabayashi/p-event.cgi?year=2024&month=11#24>> (2024年12月9日閲覧)
- 宮城県(2024)「女性応援プロジェクト実態調査結果報告」<https://www.pref.miyagi.jp/site/zuutto_miyagi/news/230328_01.html> (2024年7月14日閲覧)
- 宮城県(2024)「みやぎで就活応援プロジェクト」<<https://my-musubi.pref.miyagi.jp/>> (2024年7月14日閲覧)
- 宮城県「宮城県保育士修学資金等貸付事業について」<<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/hoikushi-kashituke.html>> (2024年7月14日閲覧)
- 宮城県子育て支援情報サイト みやぎっこひろば「『みやぎの子育てにやさしい企業』を紹介します」<<https://www.pref.miyagi.jp/site/kosodate/mokuteki-shigoto08.html>> (2024年12月14日閲覧)
- 文部科学省(2014)「大学設置基準」<https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/053/qijiroku/_icsFiles/afieldfile/2012/10/30/1325943_02_3_1.pdf> (2024年12月14日最終閲覧)
- 読売新聞オンライン「孫の育児で休暇取得、宮城県が来年1月導入へ…定年引き上げに対応」(2022/12/07 15:49) <https://www.yomiuri.co.jp/national/20221207-OYT1T50036/> (2024年12月14日最終閲覧)



参考文献: 前期の輪読活動

分野	著書	学んだこと
結婚・家族	筒井淳也『仕事と家族』『結婚と家族のこれから』『未婚と少子化』	核家族化、固定的な男女の役割分担が未婚の増加要因に→少子化へ
人口問題	『人口学への招待』(河野稠果) 増田『地方消滅』(増田寛也) 『人口減少と社会保障』(山崎史郎)	人口学の基礎知識 首都圏一極集中と地方の人口減少によって起こりうる問題
働き方	『男性中心企業の終焉』(浜田敬子) 『仕事と家族』(筒井淳也)	根強い男女の役割分業意識と労働現場の意識とのずれ
ジェンダー	『ジェンダー格差』(牧野百恵) 『母の壁』(前田正子) 『縛られる日本人』(メアリー・C・ブリントン)	男性の、働き方・ライフスタイル・家庭内の役割見直し
福祉・子育て	『スウェーデンの少子化対策』(谷沢英夫) 『子育て支援と経済成長』(柴田悠) 『貧困・介護・育児の政治』(宮本太郎) 『日本の少子化対策はなぜ失敗したのか?』(山田昌弘)	スウェーデンに比べ、女性が出産を機に仕事から離脱せざるを得ない 育児によってキャリアが分断されない労働環境が必要

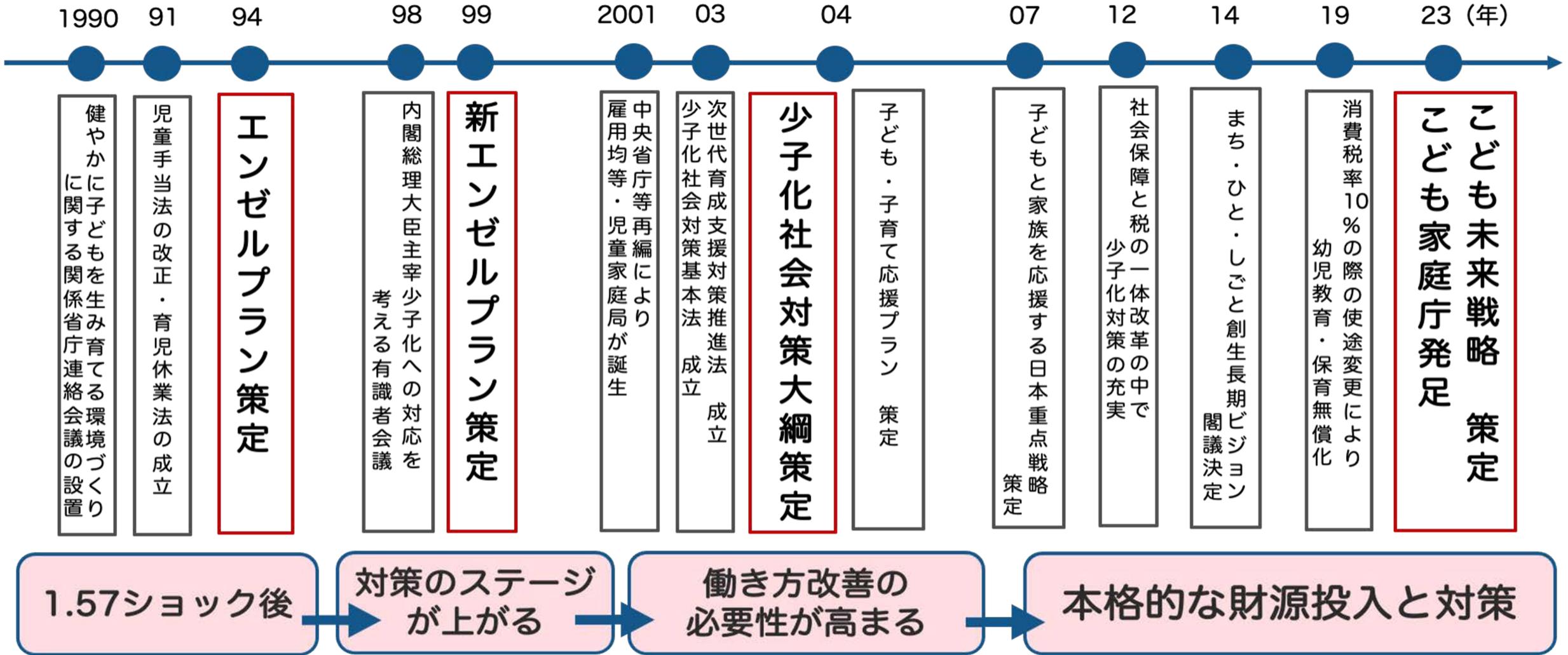


参考文献: 夏の輪読活動 (ジェンダー)

分野	著書	学んだこと
労働	川東英子 『ジェンダー労働論 雇用の男女平等をめざす日本と世界』	ジェンダー規範のように、意識へのはたらきかけが重要な分野においては、法律や制度があるだけでも改善されない
	中野円佳 『なぜ共働きも専業もしんどいのか 主婦がいないと回らない構造』	
家庭	多賀太 『ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方』	男性が女性に抱くジェンダーバイアスだけでなく、男性自身も男性性バイアスを持っている
	目黒依子 『揺らぐ男性のジェンダー意識 仕事・家族・介護』	
	周燕飛 『貧困専業主婦』	
政策	未富芳ほか 『子育て罰』	女性の人口移動が一定割合ある場合は、実は合計特殊出生率の高低では少子化度合いの高低を語ることはできない
	天野馨南子 『まちがいだらけの少子化対策』	
	天野馨南子 『未婚化する日本』	
	中貝宗治 『なぜ豊岡は世界に注目されるのか』	
脳科学	ダフナ・ジョエル, ルバ・ヴィハンスキ 『ジェンダーと脳』	生物学的な脳の構造に性差はない



1990年以降の少子化対策の流れ

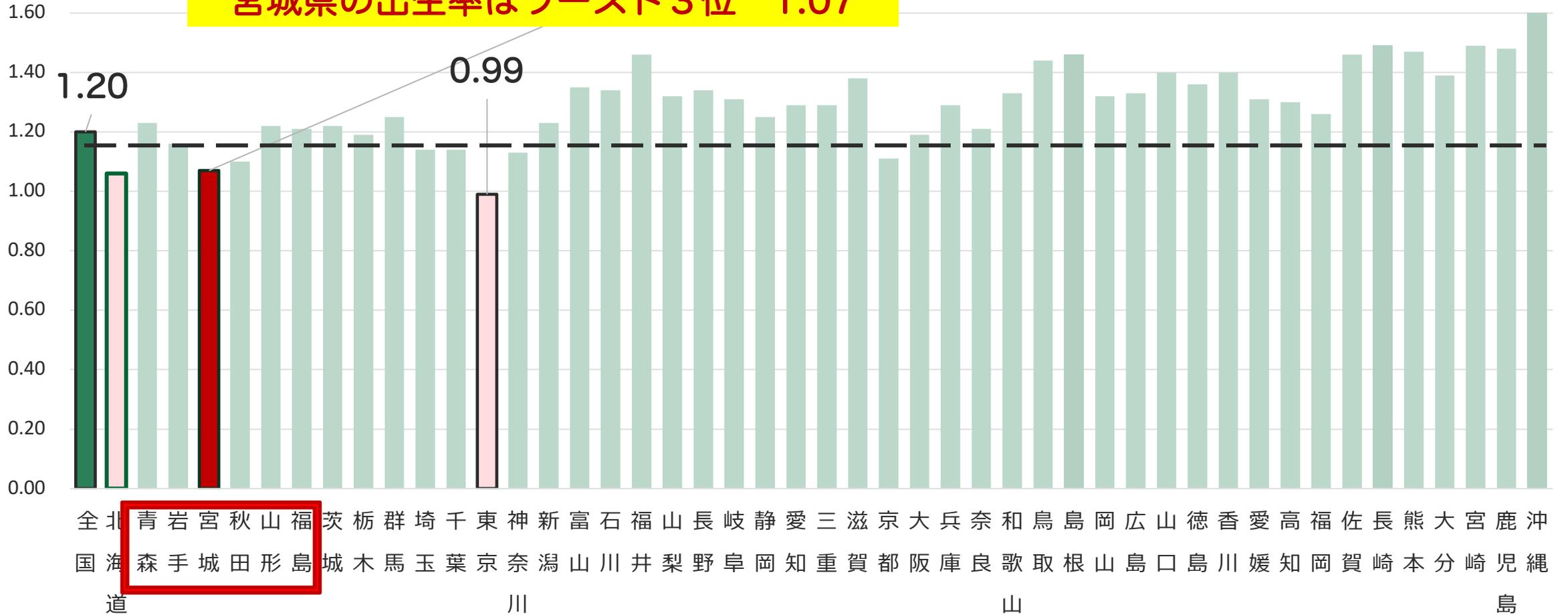


都道府県別合計特殊出生率 東北地方の現況

都道府県別合計特殊出生率（2023年）

東北の合計特殊出生率が低い

宮城県の出生率はワースト3位 1.07



プロジェクトBメンバーの主な不安一覧

家庭	<ul style="list-style-type: none">・家事育児を強要されるのではないか・夫と協力して育児ができるのか・子どもに愛に注げないのではないか(子どもとの向き合い方)・誰にも頼れない状況に晒されるのではないか・家計の調整どうすれば良いか・家庭に十分に時間を割けるか・出産という行為への不安・男性である自分は何をしてよいか分からない(子育ての仕方)
職場	<ul style="list-style-type: none">・子どもがいることで仕事に支障が出ないか(給与面、人間関係面)・仕事を休んで検診に行かないと行けない・どんなキャリアを歩めるかわからない・育休取得後の見通しが立たなければ育休取得の決断が出来ない・仕事のしわ寄せが家庭に及ぶか・仕事を、子どもの有無にかかわらず継続できるか(仕事と家事育児の両立)
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">・保育園に入れるか・子育て拠点の機能が充実していなかったら・地域の支援をどのように活用できるかわからない

